

# marantz®

**Model SA-14S1 取扱説明書**

---

Super Audio CD player

# ご使用になる前に

## 安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

### 絵表示の例

図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。



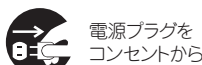
感電注意

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。



分解禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。



電源プラグをコンセントから抜く

●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。



## 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



電源プラグをコンセントから抜く

### 万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

- 煙や異臭、異音が出たとき
- 落としたり、破損したりしたとき
- 機器内部に水や金属類、燃えやすいものなどが入ったとき

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体と接続している機器の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、安全を確認してから販売店にご連絡ください。お客様による修理などは危険ですので絶対におやめください。



必ず実施

### ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



必ず実施

### 電源コードは大切に

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。



必ず実施

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着しているときは電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



火気禁止

### 火や炎を近づけない

本機の上でろうそくを灯す・タバコの灰皿を使用するなどの火や炎の発生しているものを置かないでください。火災の原因になります。



禁止

### 内部に水などの液体や異物を入れない

機器内部に水などの液体や金属類、燃えやすいものを差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお客様のいるご家庭ではご注意ください。



水ぬれ禁止

### 水滴や水しぶきのかかるところに置かない

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。水がかかったり、濡れた状態で使用すると火災、感電の原因になります。



分解禁止

### ねじを外したり、分解や改造したりしない

内部には電圧の高い部分がありますので、火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



接触禁止

### 雷が鳴り出したら

機器や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



接触禁止

### 使用中、使用直後に高温となる部分には触らない

使用中、使用直後は上面や高温注意マークの付近には触れないでください。機器の放熱のために高温となっており、触れた場合にやけどをする恐れがあります。



高温注意



禁止

### 乾電池は充電しない

電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。



水場での使用禁止

### 風呂・シャワー室では使用しない

火災・感電の原因となります。




水ぬれ禁止


この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器、および小さな金属物を置かない


こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電の原因となります。


# 注意


この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。


 **付属の電源コードを使用する**  
他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。  
また、付属の電源コードは本機以外には使用しないでください。  
電流量などの違いにより火災・感電の原因となることがあります。


 **電源コードは確実に接続し、束ねたまま使用しない**  
電源コードを接続するときは接続口に確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となることがあります。  
根元まで差し込んでゆるみがあるコンセントには接続しないでください。その場合、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。  
また、電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。


 **電源コードを熱器具に近付けない**  
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。


 **電源プラグを抜くときは**  
電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。


 **濡れた手で電源プラグを抜き差ししない**  
感電の原因となることがあります。  
ぬれ手禁止


 **すぐにコンセントから電源プラグを抜くことができるように設置する**  
電源のスイッチを切ってもコンセントからは完全に遮断されていません。  
万一の事故防止のため、本機をコンセントの近くに置き、すぐにコンセントから電源プラグを抜くことができるようにしてください。


 **機器の接続は説明書をよく読んでからおこなう**  
必ず実施  
テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従っておこなってください。  
また、接続には指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。


 **電源を入れる前には音量を最小にする**  
必ず実施  
突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。


 **長時間音が歪んだ状態で使用しない**  
スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。


 **電池を交換するときは**  
必ず実施  
● 極性表示に注意し、表示通りに正しく入れる  
● 指定以外の電池は使用しない  
● 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない  
間違えると電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。


 **ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎない**  
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。


 **ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎない**  
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。


 **不安定な場所に置かない**  
ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。


 **レーザー光源をのぞき込まない**  
レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。


 **次のような場所には置かない**  
火災・感電の原因となることがあります。  
● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ  
● 湿気やほこりの多いところ  
● 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になる場所


 **壁や他の機器から少し離して設置する**  
必ず実施  
放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。


 **通風孔をふさがない**  
内部の温度上昇を防ぐため、通風孔が開けてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。


 **通風孔をふさがない**  
内部の温度上昇を防ぐため、通風孔が開けてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。  
● あお向けや横倒し、逆さまにする  
● 押し入れ・専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む  
● テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いたりして使用する


 **この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない**  
特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。


 **ディスク挿入口に手を入れない**  
特に幼いお子様にご注意ください。けがの原因となることがあります。  
万一手を挟まれた場合は、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

 **手の挟み込み注意**  
指のけがに注意

 **重いものをのせない**  
機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。パランスがぐずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

 **移動させるときは**  
まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

 **長期間の外出・旅行のとき、またはお手入れのときは**  
安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。

 **5年に一度は内部の掃除を**  
販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。  
特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

ご使用になる前に

接続のしかた

再生のしかた

設定のしかた

困ったときは

付録

お買い上げいただき、ありがとうございます。

- ご使用の前に、この取扱説明書をお読みの上、正しくご使用ください。
  - お読みになったあとは、「保証書」・「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」と共に大切に保管してください。
  - この製品は持ち込み修理対象製品です。出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただくことになりますので、あらかじめご了承ください。
- 詳しくは、保証書の裏面をご覧ください。

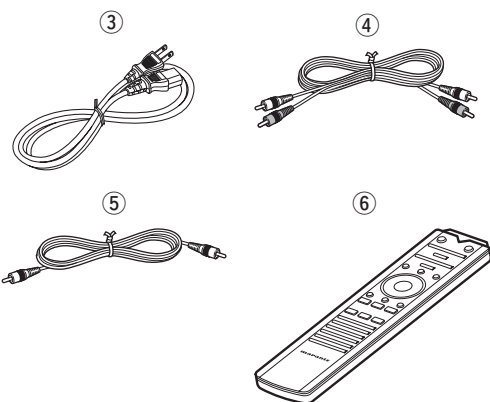
## 目次

<b>ご使用になる前に</b> ..... 2	<b>再生のしかた</b> ..... 16	<b>Play File(ファイル再生方式の設定)</b> ..... 28
安全上のご注意..... 2	<b>基本操作</b> ..... 16	Disc..... 28
目次..... 4	電源を入れる..... 16	USB..... 28
付属品..... 5	入力ソースを選択する..... 16	<b>Disp Info(ディスプレイ表示)</b> ..... 28
リモコンについて..... 5	サウンドモードを切り替える(再生レイヤー)..... 16	iPod..... 28
乾電池の入れかた..... 5	<b>CD を再生する</b> ..... 17	USB..... 28
リモコンの使いかた..... 5	スーパーオーディオ CD や CD を再生する..... 17	<b>iPod Ctrl(iPod 操作の設定)</b> ..... 28
<b>取り扱い上のご注意</b> ..... 6	ディスプレイやイルミネーションランプを消灯する..... 18	<b>USB Resume(レジューム設定)</b> ..... 28
設置について..... 6	イルミネーションランプを常に消灯する..... 18	<b>Digital Out(デジタル音声出力)</b> ..... 28
携帯電話使用時のご注意..... 6	ディスプレイの表示を切り替える..... 18	<b>Auto Stnby(オートスタンバイ)</b> ..... 28
換気についてのご注意..... 6	くり返し再生する(リピート再生)..... 18	
結露(つゆつき)について..... 6	順不同に再生する(ランダム再生)..... 19	
お手入れについて..... 6	好きな順に再生する(プログラム再生)..... 19	
移動させるときのご注意..... 6	デジタル音声出力を停止する..... 19	
<b>本機の特長</b> ..... 6	<b>データ CD を再生する</b> ..... 20	
<b>各部の名前</b> ..... 7	ファイルを再生する..... 20	
フロントパネル..... 7	<b>iPod を再生する</b> ..... 21	
ディスプレイ..... 8	iPod を再生する..... 21	
リアパネル..... 8	iPod を取りはずす..... 21	
リモコン..... 9	<b>USB メモリーを再生する</b> ..... 22	
	USB メモリーを再生する..... 22	
	USB メモリーを取りはずす..... 22	
	<b>本機を D/A コンバーターとして使用する</b> ..... 23	
	パソコンと接続して再生する..... 23	
	(USB-DAC)..... 23	
	デジタル機器と接続して再生する(Coaxial/Optical)..... 26	
	<b>お好みの音質に設定する</b> ..... 26	
	フィルター特性を切り替える..... 26	
<b>接続のしかた</b> ..... 11	<b>設定のしかた</b> ..... 27	
接続に使用するケーブル..... 11	メニュー 一覧..... 27	
アンプを接続する..... 11	メニューの操作のしかた..... 27	
デジタル音声入力端子付きの機器を接続する..... 12	Timer Play(タイマー再生)..... 27	
デジタル音声出力端子付きの機器を接続する..... 12		
USB 端子に iPod または USB メモリーを接続する..... 13		
パソコンと接続する..... 14		
リモートコントロール端子付きの機器を接続する..... 14		
オーディオタイマーに接続する..... 15		
電源コードを接続する..... 15		
		<b>困ったときは</b> ..... 29
		こんなときの解決方法..... 29
		故障かな?と思ったら..... 29
		保証と修理について..... 32
		<b>付録</b> ..... 33
		<b>再生できるメディア</b> ..... 33
		ディスク..... 33
		データ CD..... 33
		USB メモリー..... 33
		ファイルの再生順番について..... 34
		フォルダーとファイルについて..... 34
		D/A コンバーター..... 34
		<b>メディア使用時のご注意</b> ..... 35
		ディスクの入れかた..... 35
		<b>メディアの取り扱いについて</b> ..... 35
		ディスクのお手入れのしかた..... 36
		用語の解説..... 36
		主な仕様..... 37
		索引..... 37

## 付属品

ご使用前にご確認ください。

- |                              |   |
|------------------------------|---|
| ① 取扱説明書(本書).....             | 1 |
| ② 製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内 ..... | 1 |
| ③ 電源コード【本機専用】 .....          | 1 |
| ④ 音声ケーブル.....                | 1 |
| ⑤ リモート接続ケーブル.....            | 1 |
| ⑥ リモコン(RC001PMSA) .....      | 1 |
| ⑦ 単4形乾電池.....                | 2 |
| ⑧ 保証書(梱包箱に貼り付けています).....     | 1 |

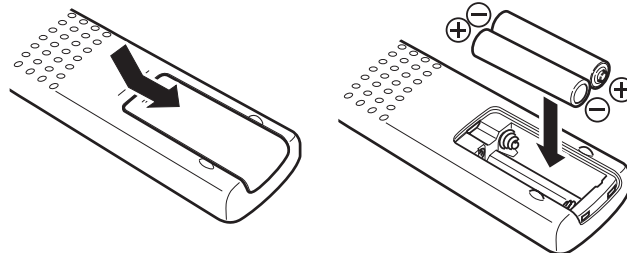


本書に使用しているイラストは、取り扱い方法を説明するためのもので、実物とは異なる場合があります。

## リモコンについて

### 乾電池の入れかた

- ① 裏ふたを矢印の方向へ押し ② 単4形乾電池(2本)をそれぞれ乾電池収納部の表示どおりに入れる。



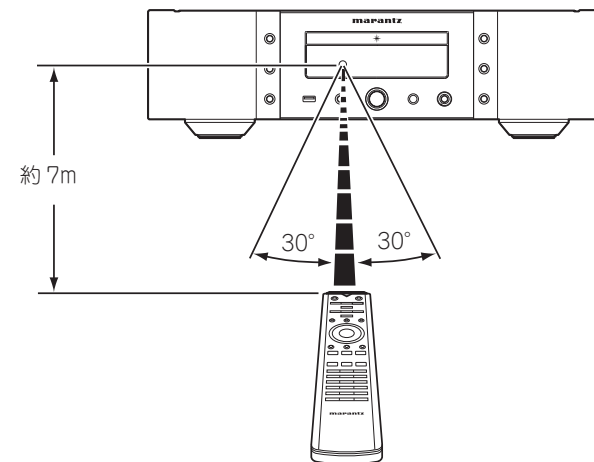
- ③ 裏ふたを元のとおりにする。

#### ご注意

- リモコンには単4形乾電池をご使用ください。
- リモコンを本機の近くで操作して本機が動作しないときは、新しい乾電池と交換してください。(付属の乾電池は動作確認済みです。早めに新しい乾電池と交換してください。)
- 乾電池を入れるときは、リモコンの乾電池収納部の表示どおりに ⊕ 側・⊖ 側を合わせて正しく入れてください。
- 破損・液漏れの恐れがありますので、
  - 新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 乾電池は充電しないでください。
  - 乾電池をショートさせたり、分解や加熱または火に投入させたりしないでください。
  - 電池を直射日光のあたるところや暖房器具の近くなど高温になるところに置かないでください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- リモコンを長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 不要になった乾電池を廃棄するときは、お住まいの地域の条例にしたがって処理をしてください。
- 充電式電池をご使用の場合、正しく動作しない場合があります。

### リモコンの使いかた

リモコンはリモコン受光部に向けてご使用ください。



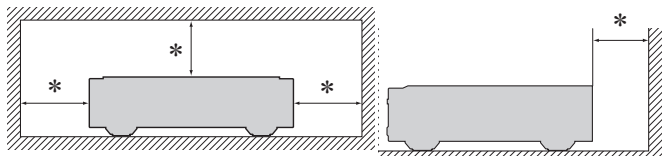
#### ご注意

リモコン受光部に、直射日光やインバーター式蛍光灯の強い光または赤外線があたると、誤動作をしたり、リモコンが操作できなくなったりする場合があります。

## 取り扱い上のご注意

### 設置について

本機内部の放熱を良くするために、壁や他の機器との間は、十分に離して設置してください。



\* 10cm 以上離す

### 携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音(ノイズ)が入る場合があります。携帯電話は、本機から離れた位置でご使用ください。

### 換気についてのご注意

本機をたばこなどの煙が充満している場所に長時間置くと、光学式ピックアップの表面が汚れ、正しい信号の読み取りができなくなることがあります。

### 結露(つゆつき)について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部に水滴が付くことがあります(結露)。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま 1 ~ 2 時間放置してから使用してください。

### お手入れについて

キャビネットや操作パネル部分の汚れを拭き取るときは、やわらかい布を使用して軽く拭き取ってください。

- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

### 移動させる時のご注意

最初にディスクを取り出して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

次に、機器間の接続ケーブルをはずしてから移動してください。

#### ステレオ音のエチケット



- 隣近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

## 本機の特長

DSD ファイルの再生に対応した USB-DAC 機能を搭載。DSD 信号や PCM 信号の 192kHz/24bit までサポートした USB-DAC 機能を搭載しています。パソコンに保存している PCM 信号や DSD 信号の音楽ファイルを USB 接続で本機に入力すると、本機に搭載している D/A コンバーターで、高音質な音楽再生をお楽しみいただけます。ご使用になる前にパソコンに専用ドライバーソフトをインストールしてください(23 ページ)。パソコンの再生プレーヤーソフトは、市販品またはダウンロード可能なお好みのプレーヤーソフトをご使用ください。

#### トロイダルトランス

電源トランス特有の振動と漏洩磁束の少ないトロイダル型電源トランスを搭載しました。リング状コアの材料と製造工程を厳しく管理することで振動を軽減し、トランス外周に取り付けられたコアリングとショートリングは漏洩磁束を軽減しています。

#### 大容量ブロックコンデンサ

電源回路には音質検討を重ねたオーディオ用 4700  $\mu$ F 大容量コンデンサを搭載しています。

#### 高音質フィルムコンデンサー、電解コンデンサー

本機では上級機にも使用している高音質フィルムコンデンサーやオーディオ用電解コンデンサーを採用しています。

ディファレンシャル入力の HDAM によるローノイズ低歪フィルター回路と高速 HDAM<sup>®</sup>SA2 送り出しアンプ

ダブル・レイヤード・シャーシ

高級削り出しアナログ音声出力端子

本機指定のファイル形式(WMA/MP3)が記録されたCD-R/RW/ROM ディスク、または本機指定のファイル形式(MP3/WMA/WAV/AAC)を記録したUSBメモリーおよび iPod 再生に対応

**D/A コンバーターとして使用可能**

外部機器やパソコンから本機に入力されるデジタル音声信号を本機の D/A コンバーターでアナログ変換して出力することができます。

**音声出力信号の影響を抑える周辺回路のオフ機能**

本機から出力するアナログ音声信号に周辺回路からのノイズの流入を抑えるため、デジタル音声出力回路をオフにする機能や、ディスプレイとイルミネーションランプを消灯する機能を搭載しました。

**フィルター切り替え機能**

スーパーオーディオ CD、CD/DAC モード再生時に、それぞれに 2 種類のフィルター特性を切り替えて音楽をお楽しみいただけます。

**高品位なヘッドホンアンプ回路を搭載**

HDAM<sup>®</sup>SA2 を搭載した、高品位なヘッドホンアンプ回路を搭載していますので、深夜にヘッドホンで音楽を聴くときなどに高音質でお楽しみいただけます。

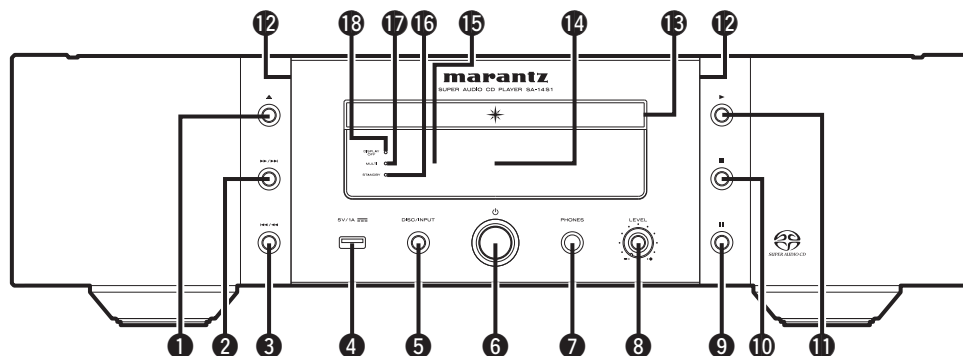
**スタンバイモード時も iPod<sup>®</sup> を充電可能**

**電力消費をおさえるオートスタンバイモード**

**各部の名前**

各部のはたらきなど詳しい説明については、( )内のページをご覧ください。

**フロントパネル**

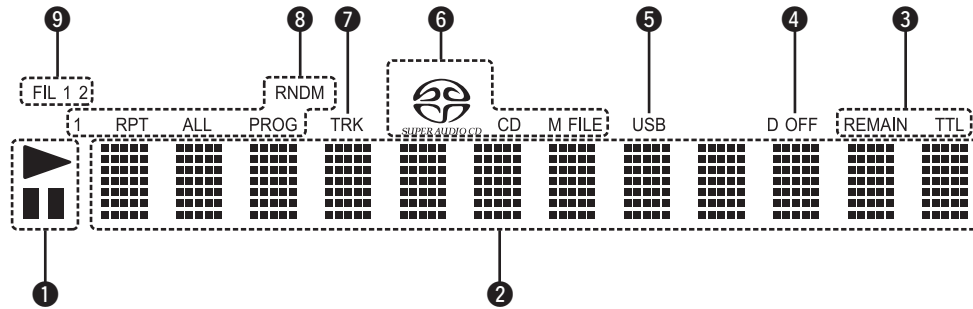


- 1 ディスクトレイ開閉ボタン (▲)**  
ディスクトレイを開閉します(17 ページ)。
- 2 スキップ / サーチボタン (▶▶/▶▶I)**  
次の曲の先頭にスキップします。長押しすると早送りします(17、21、22 ページ)。
- 3 スキップ/サーチボタン (I◀◀/◀◀)**  
再生中の曲の先頭や前の曲の先頭にスキップします。長押しすると早戻しします(17、21、22 ページ)。
- 4 USB端子**  
USB メモリーや iPod/iPhone に付属の USB ケーブルを接続します(13 ページ)。
- 5 入力ソース選択ボタン(DISC/INPUT)**  
入力ソースを選択します(16 ページ)。
- 6 電源ボタン (⏻)**  
電源をオン / オフします(16 ページ)。
- 7 ヘッドホン端子 (PHONES)**  
ヘッドホンを接続します。
- 8 ヘッドホン音量調節つまみ (LEVEL)**  
ヘッドホンの音量を調節します。
- 9 一時停止ボタン (II)**  
再生を一時停止します(17、21、22 ページ)。
- 10 停止ボタン (■)**  
再生を一時停止します(17、21、22 ページ)。
- 11 再生ボタン (▶)**  
再生をはじめます(17、21、22 ページ)。
- 12 イルミネーションランプ**  
電源をオンにすると青色に点灯します(18 ページ)。
- 13 ディスクトレイ**  
ディスクを入れます(17 ページ)。
- 14 ディスプレイ**  
各種情報を表示します(8 ページ)。
- 15 リモコン受光部**  
リモコンからの信号を受信します(5 ページ)。
- 16 スタンバイ表示 (STANDBY)**  
本機の状態により次のように変わります。  
•電源オン時：消灯  
•スタンバイ時：赤色  
•iPod 充電中(スタンバイ時)：橙色  
•電源オフ時：消灯
- 17 マルチチャンネルレイヤー表示(MULTI)**  
スーパーオーディオ CD のマルチチャンネルレイヤーを選択しているときに点灯します(16 ページ)。
- 18 ディスプレイオフ表示(DISPLAY OFF)**  
ディスプレイ表示がオフのときに点灯します(18 ページ)。

**ご注意**

ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

## ディスプレイ



## ① 再生モード表示

- ⏸: 一時停止時に点灯します。
- ▶: 再生時に点灯します。

## ② メイン表示部

再生するディスクの時間表示、文字情報、設定メニューなどを表示します。

## ③ 時間モード表示

**REMAIN**: トラックの残り再生時間を表示中に点灯します。  
**TTL**: 総残り時間や総プログラム時間を表示中に点灯します。

## ④ D OFF表示

オーディオ CD 信号のデジタル出力設定を“Off”に設定しているときに点灯します (P.28 ページ「Digital Out (デジタル音声出力)」)。

## ⑤ USB表示

USB モードで動作しているときに点灯します。

## ⑥ ディスク表示

再生するディスクの種類を表示します。WMA/MP3 ファイルを収録しているディスクの場合は“M FILE”表示が点灯します。

## ⑦ TRK表示

再生中の曲番(トラックナンバー)などを表示中に点灯します。

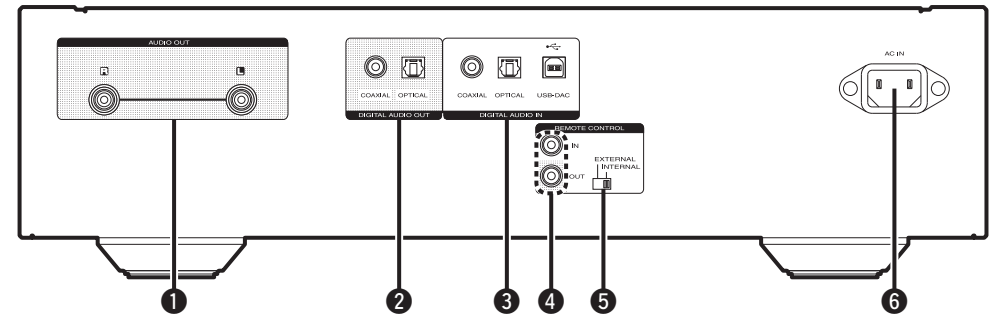
## ⑧ 特殊再生モード表示

**1**: 1 曲リピート再生時に点灯します。  
**RPT**: リピート再生時に点灯します。  
**ALL**: 全曲リピート再生時に点灯します。  
**RNDM**: ランダム再生時に点灯します。  
**PROG**: プログラム再生時に点灯します。

## ⑨ FIL 1 2表示

現在、フィルター1、フィルター2のうち、どのフィルターが選択されているかを表示します (P.26 ページ「フィルター特性を切り替える」)。

## リアパネル



## ① 音声出力端子 (ANALOG OUT)

アンプに接続します (P.11 ページ)。

## ② デジタル音声出力端子 (COAXIAL/OPTICAL)

デジタル音声入力端子付きの AV レシーバーや D/A コンバーターを接続します (P.12 ページ)。

## ③ デジタル音声入力端子 (COAXIAL/OPTICAL/USB-DAC)

デジタル音声出力端子付きの機器やパソコンを接続します (P.12 ページ)。

## ④ リモートコントロール入出力端子 (REMOTE CONTROL IN/OUT)

リモートコントロール機能付きのマランツ製アンプを接続するときに使用します (P.14 ページ)。

## ⑤ EXTERNAL/INTERNALスイッチ

アンプとリモートコントロール接続し、スイッチを“EXTERNAL”に切り替えると、アンプがリモコン信号を受信して、本機はアンプからのリモコン信号を受けて動作します (P.14 ページ)。

## ⑥ ACインレット (AC IN)

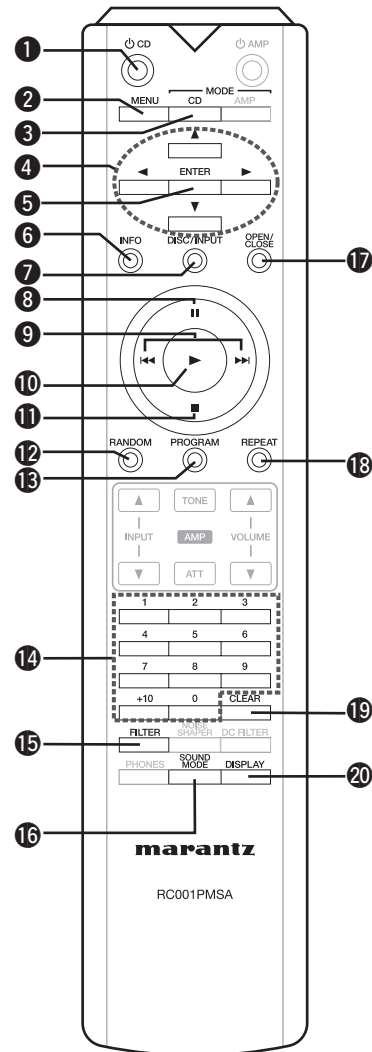
電源コードを接続します (P.15 ページ)。



## リモコン

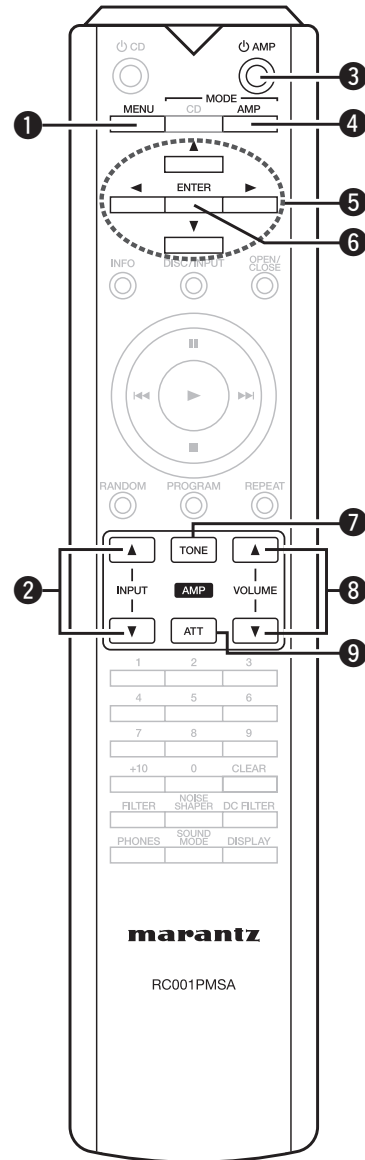
## □スーパーオーディオ CD プレーヤー操作用のボタン

本機を操作するときは、リモコンモード切り替えボタン(CD MODE)を押して、リモコンを本機の操作モードに切り替えます。



- ① スーパーオーディオ CD 用電源ボタン(⏻ CD)  
電源をオン / オフ(スタンバイ)します(☞16 ページ)。
- ② メニューボタン(MENU)  
メニューを表示します(☞27 ページ)。
- ③ リモコンモード切り替えボタン (CD MODE)  
リモコンをスーパーオーディオ CD 操作モードに切り替えます。
- ④ カーソルボタン (△▽◀▶)  
項目を選択します(☞21, 22, 27 ページ)。
- ⑤ エンターボタン(ENTER)  
選択した内容を確定します(☞21, 22, 27 ページ)。
- ⑥ 情報表示切り替えボタン(INFO)  
再生中の曲情報などをディスプレイに表示します(☞18 ページ)。
- ⑦ 入力ソース選択ボタン (DISC/INPUT)  
入力ソースを選択します(☞16 ページ)。
- ⑧ 一時停止ボタン (II)  
再生を一時停止します(☞17, 21, 22 ページ)。
- ⑨ スキップ/サーチボタン (I◀◀▶▶I)  
再生中の曲の先頭や、前の曲および次の曲の先頭にスキップします。長押しすると早戻し / 早送りをします(☞17, 21, 22 ページ)。
- ⑩ 再生ボタン (▶)  
再生をはじめます(☞17, 21, 22 ページ)。
- ⑪ 停止ボタン (■)  
再生を停止します(☞17, 21, 22 ページ)。
- ⑫ ランダムボタン(RANDOM)  
ランダム再生を設定します(☞19, 22 ページ)。
- ⑬ プログラムボタン(PROGRAM)  
プログラム再生を設定します(☞19 ページ)。
- ⑭ 数字ボタン(0~9, +10)  
ダイレクト選局時に使用します(☞17 ページ)。
- ⑮ フィルターボタン (FILTER)  
フィルター特性を切り替えます(☞26 ページ)。
- ⑯ サウンドモードボタン(SOUND MODE)  
スーパーオーディオ CD の再生レイヤーまたはエリアを切り替えます(☞16 ページ)。
- ⑰ ディスクトレイ開閉ボタン (OPEN/CLOSE)  
ディスクトレイを開閉します(☞17 ページ)。
- ⑱ リpeatボタン(REPEAT)  
リピート再生を設定します(☞18, 22 ページ)。
- ⑲ クリアボタン(CLEAR)  
プログラムした曲を取り消します(☞19 ページ)。
- ⑳ ディスプレイボタン(DISPLAY)  
ディスプレイ表示の点灯 / 消灯を切り替えます(☞18 ページ)。

## □アンプ操作のボタン



- ① メニューボタン(MENU)
- ② 入力ソース選択ボタン(INPUT ▲▼)
- ③ アンプ用電源ボタン(⏻ AMP)
- ④ リモコンモード切り替えボタン  
(AMP MODE)
- ⑤ カーソルボタン(△▽◀▶)
- ⑥ エンターボタン(ENTER)
- ⑦ 音質調節ボタン(TONE)
- ⑧ 音量調節ボタン(VOLUME ▲▼)
- ⑨ アッテネートボタン(ATT)



- このリモコンは、マランツ製プリメインアンプも操作できます。
- ご使用の際は、各機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

**ご注意**

一部操作ができない製品もあります。

# 接続のしかた

## ご注意

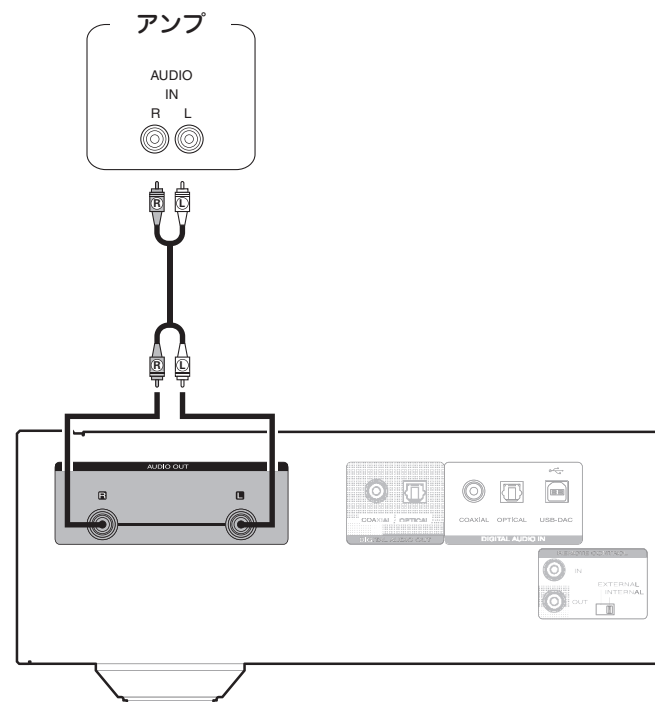
- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続する機器の取扱説明書も必ずご覧ください。
- 左右のチャンネルを確かめてから、正しくLとL、RとRを接続してください。
- 接続ケーブルは、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。雑音の原因となることがあります。

## 接続に使用するケーブル

接続する機器に合わせて、必要なケーブルをご用意ください。

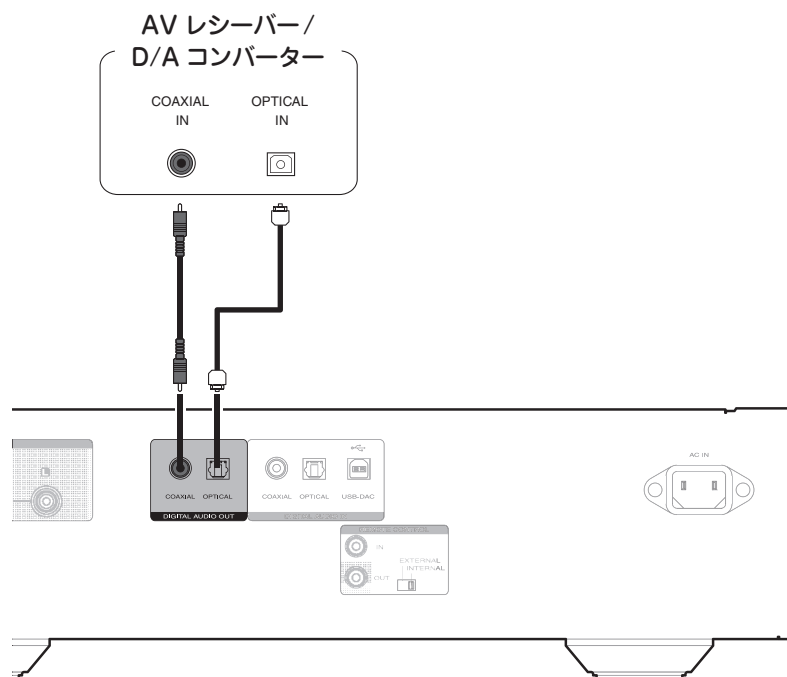
音声ケーブル	
光伝送ケーブル	
同軸デジタルケーブル	
USB ケーブル	
リモート接続ケーブル	

## アンプを接続する



## デジタル音声入力端子付きの機器を接続する

本機にデジタル音声入力端子付きの AV レシーバーや D/A コンバーターを接続すると、デジタル音声を再生できます。

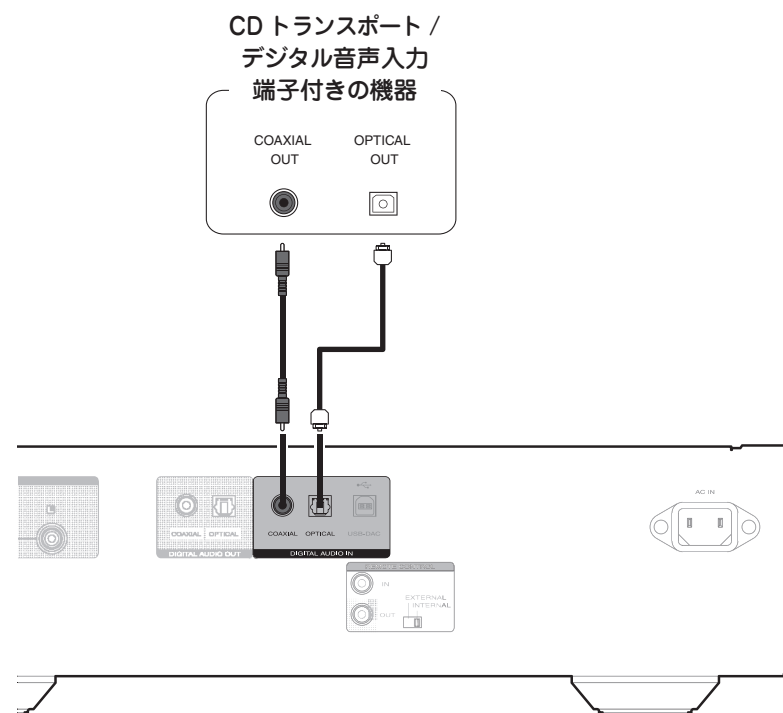


### ご注意

- スーパーオーディオ CD の CD レイヤー、CD、USB、USB-DAC (PCM 信号)、COAXIAL と OPTICAL のデジタル音声信号を再生中に、デジタル音声出力ができます。
- スーパーオーディオ CD の HD レイヤーと USB-DAC (DSD 信号およびサンプリング周波数が 32kHz のリニア PCM 信号)の再生中は、デジタル音声出力を停止します。

## デジタル音声出力端子付きの機器を接続する

本機にデジタル音声信号を入力し、本機の D/A コンバーターで D/A 変換をおこなって再生する接続です(※23 ページ「本機を D/A コンバーターとして使用する」)。



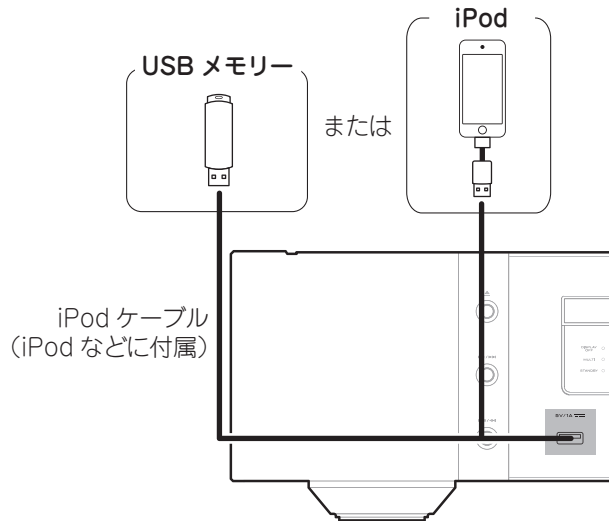
### ご注意

- 本機に入力できるのは、サンプリング周波数が 32kHz、44.1kHz、48kHz、64kHz、88.2kHz、96kHz、176.4kHz、192kHz のリニア PCM 信号です。
- ドルビーデジタル、DTS、AAC などのリニア PCM 信号以外の信号は入力しないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。

# USB 端子に iPod または USB メモリーを接続する

フロントパネルの USB 端子に、iPod または USB メモリーを接続します。

## 対応している iPod/iPhone



### • iPod classic



iPod classic  
80GB



iPod classic  
160GB (2007)



iPod classic  
160GB (2009)

### • iPod nano



iPod nano  
3rd generation  
(video)  
4GB 8GB



iPod nano  
4th generation (video)  
8GB 16GB



iPod nano  
5th generation (video camera)  
8GB 16GB



iPod nano  
6th generation  
8GB 16GB



iPod nano  
7th generation  
16GB

### • iPod touch



iPod touch  
1st generation  
8GB 16GB 32GB



iPod touch  
2nd generation  
8GB 16GB 32GB



iPod touch  
3rd generation  
32GB 64GB



iPod touch  
4th generation  
8GB 32GB 64GB



iPod touch  
5th generation  
32GB 64GB

### • iPhone



iPhone  
4GB 8GB 16GB



iPhone 3G  
8GB 16GB



iPhone 3GS  
8GB 16GB 32GB



iPhone 4  
8GB 16GB 32GB



iPhone 4S  
16GB 32GB 64GB



iPhone 5  
16GB 32GB 64GB



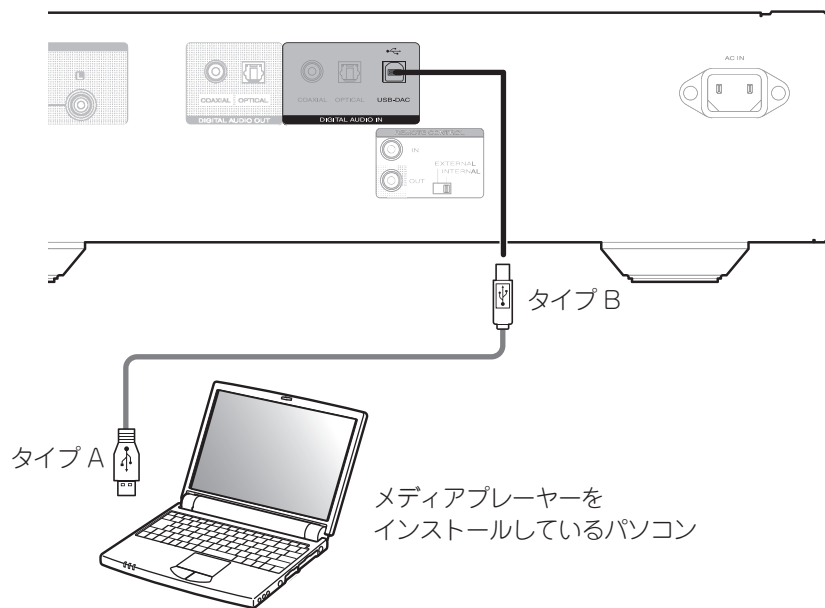
すべての USB メモリーに対して、動作および電源の供給を保証するものではありません。USB 接続タイプのポータブル HDD で、AC アダプターを接続して電源が供給できるタイプのものご使用になる場合は、AC アダプターのご使用をおすすめします。

### ご注意

- USB メモリーは USB ハブ経由では動作しません。
- 本機の USB 端子とパソコンを USB ケーブルで接続してご使用いただくことはできません。
- USB メモリーを接続するときに、延長ケーブルはご使用にならないでください。他の機器に電波障害を引き起こす場合があります。

## パソコンと接続する

本機の USB-DAC 端子とパソコンを USB ケーブル(別売り)で接続すると、パソコンの音楽データを本機の D/A コンバーターで再生できます(23 ページ「本機を D/A コンバーターとして使用する」)。



- ハイレゾリューション音源(DSD 信号や 192kHz / 24bit の PCM 信号)を再生するには、本機とパソコンを USB 接続する前にパソコンに専用ドライバーソフトをインストールしてください(「専用ドライバーソフトのインストール(Windows OS のみ)」(23 ページ))。
- ドライバーソフトは当社ウェブサイトの SA-14S1 のページからダウンロードしてください。

### ご注意

パソコンとの接続には、3m 以下のケーブルをご使用ください。

## リモートコントロール端子付きの機器を接続する

本機とマランツ製アンプをリモート接続すると、本機はアンプが受信したリモコン信号をアンプから入力して動作します。次の「接続」と「設定」をおこなってください。

### 接続

付属のリモート接続ケーブルで、本機の REMOTE CONTROL IN 端子とアンプの REMOTE CONTROL OUT 端子を接続します。

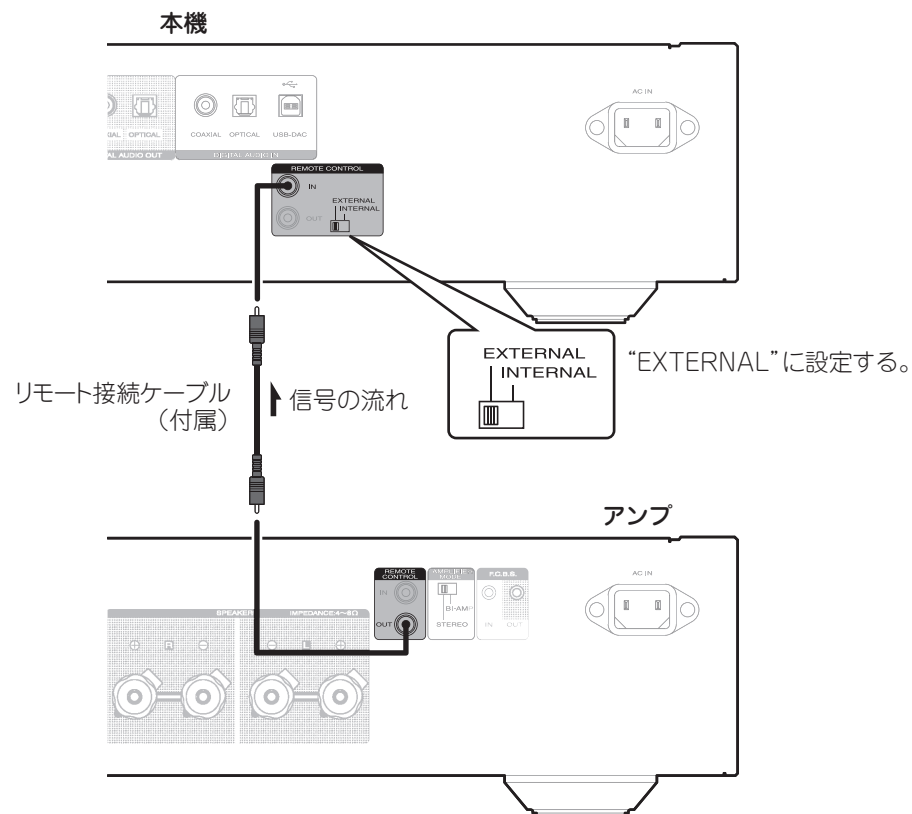
### 設定

本機の EXTERNAL/INTERNAL スイッチを“EXTERNAL”に切り替えます。

- 本機はリモコン受光部の受信を停止します。
- リモコンはアンプのリモコン受光部に向けて操作してください。

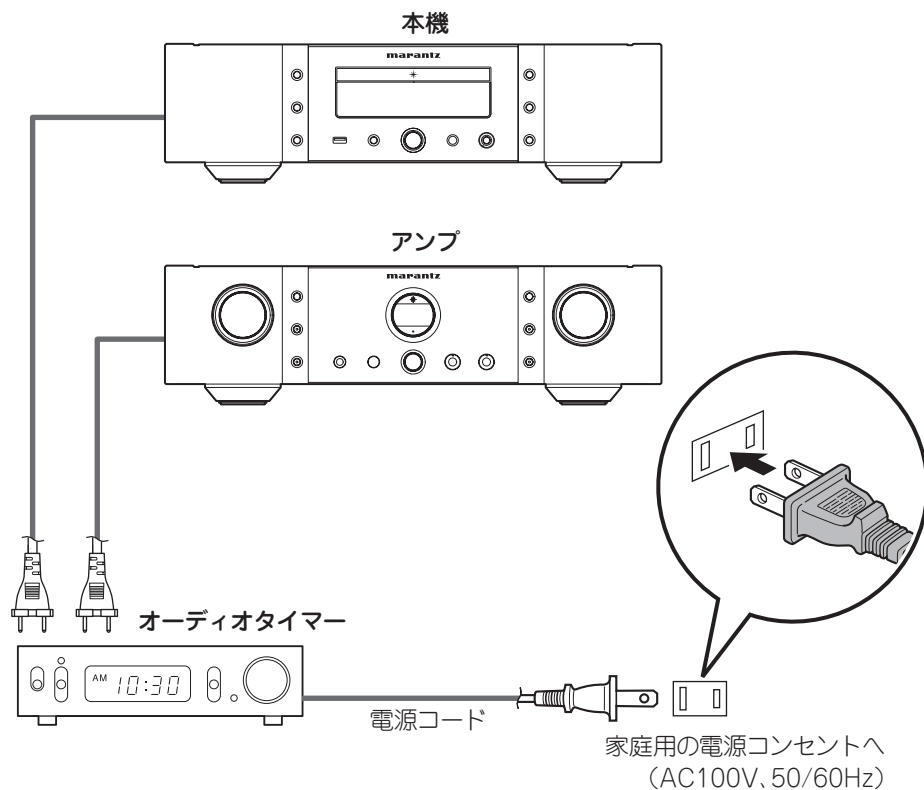


アンプを接続せずに本機のみご使用になる場合は、EXTERNAL/INTERNAL スイッチを“INTERNAL”に切り替えてください。



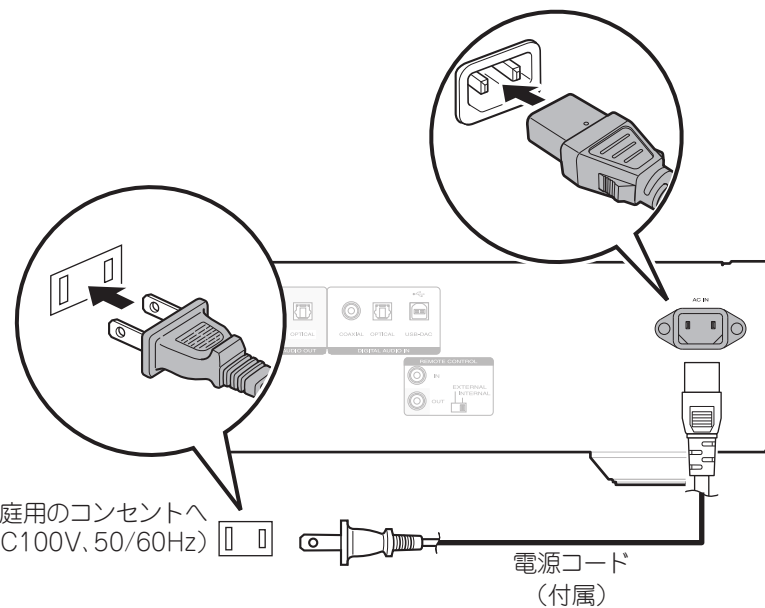
## オーディオタイマーに接続する

本機にアンプおよびオーディオタイマーを接続すると、タイマー再生ができます(27 ページ「Timer Play(タイマー再生)」)。



## 電源コードを接続する

すべての接続が完了したら、電源プラグをコンセントに差し込みます。



### ご注意

- 電源プラグはしっかりと差し込んでください。不完全な差し込みは、雑音の原因になります。
- 本機が動作しているときは、電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。

# 再生のしかた

## 基本操作

### 電源を入れる

本体の **⏻** を押す。  
電源がオンになります。  
イルミネーションランプが青色に点灯します。

### □電源をスタンバイにする

**⏻** CD を押す。  
電源がスタンバイになります。  
スタンバイ表示が赤色に点灯します。



電源をスタンバイにする前に、ディスクトレイが完全に閉まっていることを確認してください。

#### ご注意

- 電源をスタンバイにしているときに、ディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因になります。
- 電源をスタンバイ状態にしても、一部の回路は通電しています。長期間の外出やご旅行の場合は、本体の **⏻** を押して電源を切るか、電源プラグをコンセントから抜いてください。

### □電源をオフにする

本体の **⏻** を押す。  
電源がオフになります。

### 入力ソースを選択する

本機はディスクの再生以外に下記の再生に対応しています。

- デジタル音声入力信号の再生
- フロントパネルの USB 端子からの USB メモリーのファイルの再生
- フロントパネルの USB 端子からの iPod ファイルの再生
- リアパネルの USB-DAC 端子から入力するパソコンのファイルの再生

接続した機器を再生する前に、次の手順で入力ソースを切り替えてください。

**DISC/INPUT** を押して、入力ソースを選ぶ。



#### 【選択できる入力ソース】

- Disc** : ディスクを再生します(17 ページ)。  
**USB** : USB メモリーや iPod のファイルを再生します(21、22 ページ)。  
**USB-DAC** : リアパネルの USB-DAC 端子にパソコンを接続し、本機を D/A コンバーターとして使用します(23 ページ)。  
**Coaxial** : リアパネルの COAXIAL 端子にデジタル機器を接続し、本機を D/A コンバーターとして使用します(23 ページ)。  
**Optical** : リアパネルの OPTICAL 端子にデジタル機器を接続し、本機を D/A コンバーターとして使用します(23 ページ)。

### サウンドモードを切り替える(再生レイヤー)

スーパーオーディオ CD のディスクには 2 種類のレイヤーを持つものがあります。再生する前に次の操作で再生するレイヤーを選んでください。  
スーパーオーディオ CD の詳細については、「スーパーオーディオ CD(SACD)」(33 ページ)をご覧ください。

**1 DISC/INPUT** を押して、入力ソースを“Disc”にする。

**2 ディスクを入れる。**

- OPEN/CLOSE** を押して、ディスクトレイを開閉します。
- ▶** を押してもディスクトレイを閉じることができます。  
**▶** を押してディスクトレイを閉じると、自動的に再生をはじめます。

**3 SOUND MODE** を押して、設定したいレイヤーに切り替える。

#### 【選択できるレイヤー】

- STEREO** : スーパーオーディオ CD の 2 チャンネルエリアを再生します(お買い上げ時の設定)。  
**MULTI** : スーパーオーディオ CD のマルチチャンネルエリアを再生します。マルチチャンネルを 2 チャンネルにダウンミックスして再生します。  
**CD** : スーパーオーディオ CD の CD レイヤーを再生します。

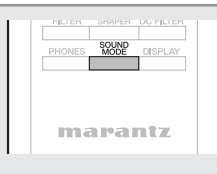




## 再生するサウンドモードをあらかじめ設定する(スタートサウンドモード)

お買い上げ時は、“STEREO”に設定しています。他のレイヤーを優先して設定するときは、次の操作をおこなってください。

ディスクトレイにディスクが入っていないときに **SOUND MODE** を押して、レイヤーを切り替える。



- この設定は本機に記録され、ディスクトレイの開閉や電源のオン/オフでも解除されません。設定を変えるときは、設定し直してください。
- 最優先再生レイヤーに設定したエリアやレイヤーがないディスクのレイヤー検出順位は、次のとおりです。  
① STEREO ② MULTI ③ CD

## CD を再生する

### スーパーオーディオ CD や CD を再生する

**1** DISC/INPUT を押して、入力ソースを“Disc”にする。

**2** ディスクを入れる。

- OPEN/CLOSE を押して、ディスクトレイを開閉します。
- ▶ を押してもディスクトレイを閉じることができます。
- ▶ を押してディスクトレイを閉じると、自動的に再生をはじめます。

**3** スーパーオーディオ CD を再生するときは、**SOUND MODE** を押して、再生するレイヤーを選ぶ。

#### 【選択できるレイヤー】

- STEREO** : スーパーオーディオ CD の 2 チャンネルエリアを再生します(お買い上げ時の設定)。
- MULTI** : スーパーオーディオ CD のマルチチャンネルエリアを再生します。マルチチャンネルを 2 チャンネルにダウンミックスして再生します。
- CD** : スーパーオーディオ CD の CD レイヤーを再生します。

**4** ▶ を押す。

- “▶”表示が点灯し、再生をはじめます。
- すべての曲の再生が終わると、再生を停止します。



再生を停止する

- を押す。

再生を一時停止する

- を押す。
- “■”表示が点灯します。
- 再生を再開するときは、▶ を押してください。

早送り / 早戻しする

再生中に ◀◀ または ▶▶ を長押しすると早送り / 早戻しをはじめます。ボタンを離すと通常の再生に戻ります。

頭出しする

- 再生中に ◀◀ または ▶▶ を押す。
- 押した回数だけ曲をスキップします。
- ◀◀ を 1 回押すと、再生中の曲の先頭に戻ります。

好きな曲を聞く(ダイレクト選曲)

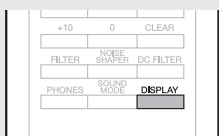
- 0 ~ 9、+10 で曲を選ぶ。
- 【例】4 曲目 : 4 を押します。
- 【例】12 曲目 : +10 および 2 を押します。
- 【例】20 曲目 : +10、+10 および 0 を押します。

## ディスプレイやイルミネーションランプを消灯する

ディスプレイおよびディスプレイ回路からのアナログ音声出力信号への影響を抑えるため、ディスプレイ回路の動作を停止できます。

### 再生中に DISPLAY を押す。

- DISPLAY を押すたびに、ディスプレイとイルミネーションランプが同時に点灯 / 消灯をくり返します。



- ディスプレイ表示をオフにすると、ディスプレイオフ表示が点灯します。
- 再生中以外に DISPLAY を押してもディスプレイやイルミネーションランプは消灯しません。

### ご注意

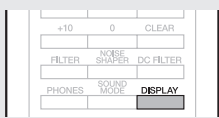
停止中はディスプレイの表示を消灯しません。再生中のみ消灯します。

## イルミネーションランプを常に消灯する

ディスプレイ表示のオン / オフにかかわらず、イルミネーションランプを常に消灯します。

### 停止中に DISPLAY を 2 秒以上長押しする。

- 消灯から点灯に設定を変更するときは、再度 DISPLAY を 2 秒以上長押ししてください。



## ディスプレイの表示を切り替える

メディアに記録されているテキスト情報や各種時間情報を表示します。

- メディアによって表示する内容が異なります(テキスト情報はスーパーオーディオ CD でのみ表示します)。
- メディアによって再生中の表示内容と停止中の表示内容が異なる場合があります。
- テキスト情報はスクロール表示します。

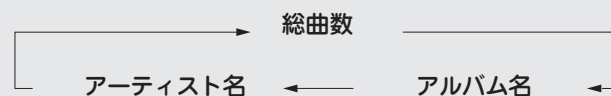
### INFO を押す。

- ボタンを押すたびに表示が切り替わります。



### 【停止中】

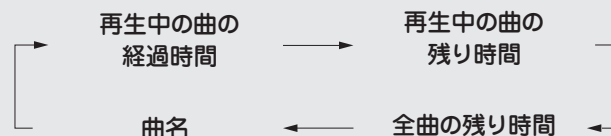
スーパーオーディオ CD :



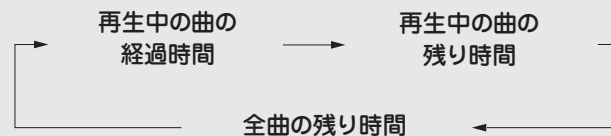
CD : 表示は切り替わりません。

### 【再生中または一時停止中】

スーパーオーディオ CD :



CD :



## くり返し再生する(リピート再生)

REPEAT を押して、リピートモードを選ぶ。



### 【選択できるモード】

- 全曲リピート“RPT”：全曲をくり返して再生します。
- 1 曲リピート“1 RPT”：1 曲のみをくり返して再生します。
- リピート再生オフ(表示なし)：通常の再生に戻ります。

## 順不同に再生する(ランダム再生)

**1** 停止中に **RANDOM** を押す。  
ディスプレイの“RNDM”表示が点灯します。

**2** **▶** を押す。  
ランダム再生をはじめます。



### □ランダム再生を止める

- 停止中に **RANDOM** を押す。  
 • ディスプレイの“RNDM”表示が消灯します。



電源をスタンバイやオフにしたり、ディスクトレイを開いても、ランダムモードを解除します。

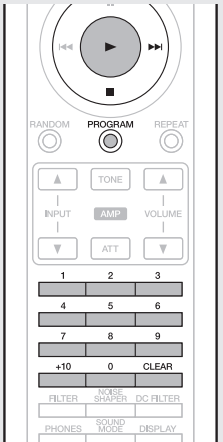
## 好きな順に再生する(プログラム再生)

**1** 停止中に **PROGRAM** を押す。  
ディスプレイの“PROG”表示が点灯します。

**2** **0 ~ 9, +10** を押して、プログラムしたい曲番を選ぶ。

【例】 3 曲目、12 曲目の順にプログラムする場合  
**3** を押したあと、**+10** と **2** を続けて押します。

**3** **▶** を押す。  
プログラムした順番に再生をはじめます。



### □プログラム再生したい曲を追加する

- 停止中(“PROG”表示が点灯しているとき)に **0 ~ 9, +10** を押す。  
 • プログラムの最後に曲を追加します。

### □プログラムした曲順を確認する

- 停止中に **▶▶** を押す。  
 • 押すたびにプログラムした順に曲番を表示します。

### □プログラムした曲を取り消す

- 停止中に **CLEAR** を押す。  
 • **CLEAR** を押すごとに、プログラムしている最後の曲から順に取り消します。

### □プログラムした曲をすべて取り消す

- 停止中に **PROGRAM** を押す。  
 • **OPEN/CLOSE** を押してディスクトレイを開けても、プログラムをすべて取り消します。



プログラム再生は、最大 20 曲まで設定できます。

### ご注意

- MP3 や WMA ファイルはプログラム再生ができません。
- 電源をスタンバイやオフにしたり、ディスクトレイを開けても、プログラムモードを解除します。

## デジタル音声出力を停止する

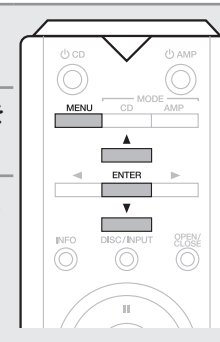
デジタル音声出力回路からのアナログ音声信号への影響を抑えるために、デジタル音声出力端子(COAXIAL、OPTICAL)からのデジタル音声信号の出力を停止します。

**1** 停止中に **MENU** を押す。

**2** **△▽** を押して“Digital Out”を選び、**ENTER** を押す。

**3** **△▽** を押して“Off”を選び、**ENTER** を押す。

- On：デジタル信号を出力します。  
 Off：デジタル信号を出力しません。



- デジタル音声出力をオフにすると、ディスプレイの“D OFF”が点灯します。
- デジタル音声出力の設定は、ディスクトレイを開けたり、電源をオフにしても解除されません。

## データ CD を再生する

インターネットのホームページ上には、MP3 形式や WMA (Windows Media® Audio)形式の音楽ファイルをダウンロードできるさまざまな音楽配信サイトがあります。そのサイトからダウンロードした音楽(ファイル)を CD-R または CD-RW に書き込むことにより、本機で再生できます。

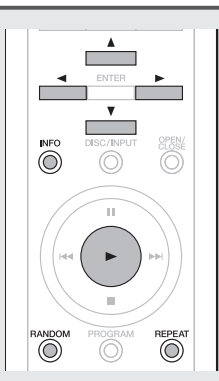
“Windows Media” および “Windows” は、米国やその他の国で、米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標になっています。

## ファイルを再生する

**1** MP3 や WMA 形式の音楽ファイルが記録された CD-R/CD-RW をディスクトレイに入れる(☞17 ページ)。

**2** メニューの“Play File”(☞28 ページ)で“Folder”または“All”を選ぶ。

**3** ▶ を押す。  
再生をします。



### □再生するフォルダを変える

△▽ で好みのフォルダを選び、ENTER を押す。

### □再生するファイルを変える

◀▶ で好みのファイルを選び、ENTER を押す。

### □表示を切り替える

再生中に INFO を押す。

### □ファイルを順不同に再生する (ランダム再生)

停止中に RANDOM を押す。

ランダム再生のときは、「Play File(ファイル再生方式の設定)」(☞28 ページ)の設定が自動的に“All”になります。

### □ファイルをリピート再生する (フォルダ / ディスクリピート再生)

REPEAT を押す。

### □再生できるファイルについて

「データ CD」(☞33 ページ)をご覧ください。



- 本機はフォルダ名とファイル名をタイトルのように表示できます。英数字、アルファベットおよびアンダースコアを 11 文字まで表示します。表示できない文字はアスタリスクで表示します。
- 表示できる文字は次のとおりです。

A ~ Z   a ~ z   0 ~ 9

! " # \$ % & ; : < > ? @ \ [ ] \_ ` { } ~ ^ ' ( ) \* + , - . / = (空白)

## iPod を再生する

iPod の音楽を聴くことができます。また、本機およびリモコンで iPod を操作することができます。



“Made for iPod” and “Made for iPhone” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.

iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod shuffle, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

• iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod shuffle および iPod touch は、著作権のないコンテンツまたは法的に複製、再生を許諾されたコンテンツを個人が私的に複製、再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

## iPod を再生する

**1** DISC/INPUT を押して、入力ソースを“USB”にする。



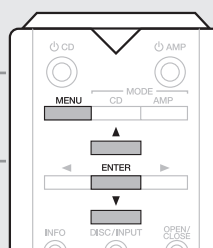
**2** 本機の USB 端子に、iPod を接続する(13 ページ)。

### □操作するモードを選ぶ

**1** 停止中に MENU を押す。

**2** △▽ を押して“iPod Ctrl”を選び、ENTER を押す。

**3** △▽ を押して操作するモードを選び、ENTER を押す。



#### 【選択できるモード】

**Direct** : iPod で操作します。

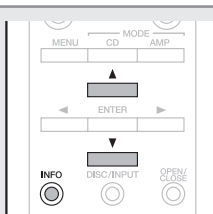
**Remote** : 本機およびリモコンで操作します。

表示モード		Direct	Remote
表示するディスプレイ		iPod のディスプレイ	本機のディスプレイ
再生できるファイル	音声ファイル	○	○
	映像ファイル	○	×
操作できるボタン	本機とリモコン	○	○
	iPod	○	×

### □再生するファイルを選ぶ

△▽ で項目を選び、ENTER で再生する音楽ファイルを選ぶ。

選択したファイルを再生します。



### □リモコンのボタンと iPod のボタンの対応関係

リモコンのボタン	iPod のボタン	本機の動作
▶	▶▶	再生
⏸	▶▶	一時停止
■	-	停止
⏮▶▶	⏮▶▶	再生中の曲の先頭または前の曲にスキップ / 次の曲の先頭にスキップ
REPEAT	-	リピート再生
RANDOM	-	ランダム再生
INFO	-	ディスプレイ表示の切り替え (リモートモード)
⏮▶▶ (長押し)	⏮▶▶ (長押し)	早戻し / 早送り
△▽	Click Wheel	カーソル操作(上 / 下)
◀	Menu	メニューの呼び出し / メニューのリターン
▶ または ENTER	Select	セッティング / 再生の確認

#### ご注意

- 万一、iPod のデータが消失または損傷しても、当社は一切責任を負いません。
- iPod のソフトウェアのバージョンによっては、本機で操作できない場合があります。

### □本機のディスプレイ表示を切り替える

再生中に INFO を押す。

ボタンを押すたびに、表示が切り替わります。

## iPod を取りはずす

**1** ■ を押して、再生を停止する。

**2** USB 端子から iPod ケーブルを抜く。



# USB メモリーを再生する

## USB メモリーを再生する

- 1 DISC/INPUT を押して、入力ソースを“USB”にする。
- 2 本機の USB 端子に、USB メモリーを接続する(13 ページ)。
- 3 △▽ を押して再生したいファイルまたはフォルダを選び、ENTER を押す。
- 4 △▽ を押してファイルを選び、ENTER を押す。  
再生をはじめます。



### □USB メモリー再生時に使用できるボタン

リモコンのボタン	本機の動作
▶	再生
	一時停止
■	停止
△▽	カーソル操作
◀	メニューの呼び出し / 前のメニューに戻る
◀▶▶▶ (長押し)	早戻し / 早送り
REPEAT	リピート再生
RANDOM	ランダム再生
INFO	ディスプレイ表示の切り替え
ENTER または▷	設定 / 再生の確認



- メニューの“USB Resume” (28 ページ) がオンのとき、USB メモリーを接続すると自動的に再生をはじめます。
- 本体に USB メモリーを接続しているときに入力ソースを“USB”に切り替えると、自動的に再生をはじめます。

### □再生を停止する

■ を押す。

### □再生を一時停止する

|| を押す。

- || 表示が点灯します。
- 再生を再開するときは、▶ を押してください。

### □早送り / 早戻しする

再生中に ◀◀ または ▶▶ を 2 秒以上長押しする。

- ボタンから指を離すと、通常の再生に戻ります。
- サーチから通常の再生に戻るときに、若干音が途切れることがあります。

### □くり返し再生する(リピート再生)

REPEAT を押す。

### □順不同に再生する(ランダム再生)

停止中または再生中に RANDOM を押す。

- RANDOM を押すと、“RNDM”表示が消灯し、ランダム再生を解除します。

### □本機のディスプレイ表示を切り替える

再生中に INFO を押す。

#### ご注意

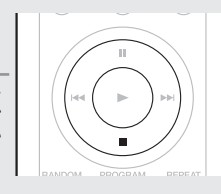
- USB メモリーを本機と接続して使用しているときに、万一 USB メモリーのデータが消失または損傷した場合、当社は一切責任を負いません。
- USB メモリーは USB ハブ経由では動作しません。
- すべての USB メモリーに対して、動作および電源の供給を保証するものではありません。

### □再生できるファイルについて

「USB メモリー」(33 ページ)をご覧ください。

## USB メモリーを取りはずす

- 1 ■ を押して、再生を停止する。
- 2 USB メモリーの通信表示が点滅していないことを確認してから、USB メモリーを抜く。



#### ご注意

USB メモリーの通信表示が点滅しているときは、USB メモリーを抜かないでください。USB メモリーおよび USB メモリーの記録ファイルが破損することがあります。

# 本機を D/A コンバーターとして使用する

外部機器やパソコンから本機に入力されるデジタル音声信号を、本機でアナログ変換して出力できます (D/A コンバーター機能)。

- DSD は、登録商標です。
- Microsoft, Windows XP, Windows Vista, Windows 7 と Windows 8 は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple, Macintosh, Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

## パソコンと接続して再生する (USB-DAC)

- パソコンに保存している PCM 信号や DSD 信号の音楽ファイルを USB 接続で本機に入力すると、本機に搭載している D/A コンバーターで、高音質な音楽再生をお楽しみいただけます。
- 本機とパソコンを USB 接続する前に、パソコンに専用ドライバーソフトをインストールしてください。
- Mac OS をご使用の場合は、ドライバーソフトのインストールは必要ありません。
- パソコンの再生プレーヤーには市販品またはダウンロード可能なお好みのプレーヤーソフトをご使用ください。

## □パソコン(推奨システム)

### OS

- Windows® XP Service Pack3, Windows® Vista, Windows 7 および Windows 8
- Mac OS X 10.6.3 以降

### USB

- USB 2.0 : USB High speed/USB Audio Class Ver.2.0

### ご注意

ご使用のパソコンが“Mac OS”の場合は、“Audio MIDI 設定”で、“USB High Speed Audio”のフォーマットが“192000.0 Hz”以下に設定されているか、確認してください。

## □専用ドライバーソフトのインストール (Windows OS のみ)

### パソコンへのドライバーソフトのインストールのしかた

#### 1 本機とパソコンの USB 接続をはずす。

- 本機とパソコンを USB 接続しているとドライバーソフトを正しくインストールできません。
- パソコンにドライバーソフトをインストールする前に、本機と USB 接続してパソコンを立ち上げた場合、USB 接続をはずして、パソコンを再起動してください。

#### 2 ご使用のパソコンに、当社ウェブサイト SA-14S1 のページの“ダウンロード”から専用ドライバーをダウンロードする。

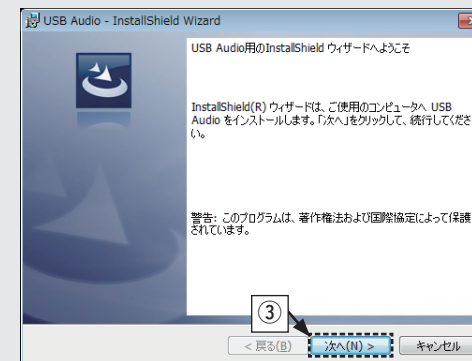
#### 3 ダウンロードファイルを解凍し、ご使用のパソコンの Windows OS に合わせて 32bit 版または 64bit 版の exe ファイルを選び、ダブルクリックする。

## 4 ドライバーソフトをインストールする。

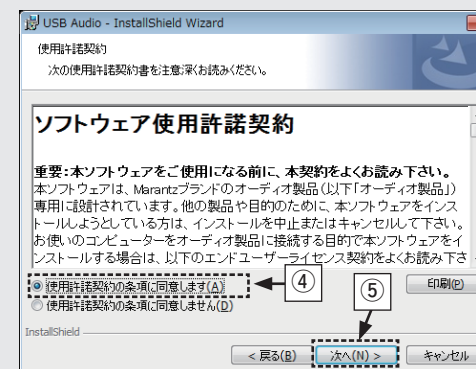
- ① インストール作業をおこなう言語を選ぶ。
- ② “OK(O)”をクリックする。



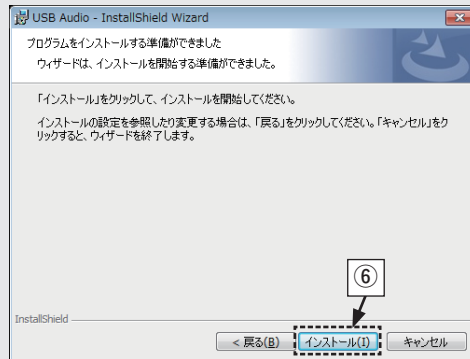
- ③ ウィザードメニューが表示されたら“次へ(N)”をクリックする。



- ④ ソフトウェア使用許諾メニューを読み、“使用許諾契約”の条項に同意します(A)”を選ぶ。
- ⑤ “次へ(N)”をクリックする。



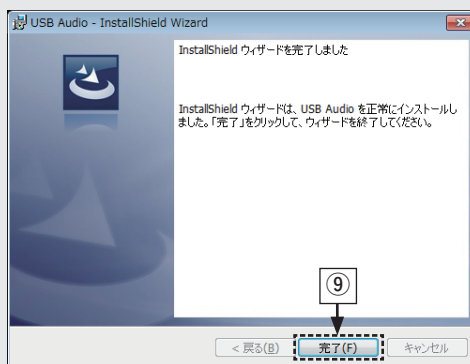
- ⑥ インストール開始ダイアログの“インストール (I)” をクリックする。
- インストールをはじめます。インストールが終了するまでパソコンの操作をしないでください。



- ⑦ Windows セキュリティダイアログの“DandM Holdings Inc.”からのソフトウェアを常に信頼する (A) ”を選ぶ。
- ⑧ “インストール (I)” をクリックする。



- ⑨ インストール終了画面を表示したら“完了 (F)” をクリックする。



- 5 本機の電源をオフにしたまま、本機とパソコンを USB ケーブル(別売り)で接続する。
- 接続のしかたは「パソコンと接続する」(P14 ページ)をご覧ください。

- 6 本機の電源を押す。
- 本機の電源がオンになると、パソコンは自動的に本機を検出して接続をおこないます。

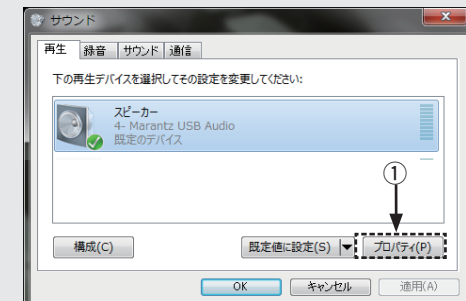
- 7 DISC/INPUT 押して、再生する入力ソースを“USB-DAC”にする(P16 ページ)。

- 8 インストールしたドライバーを確認する。

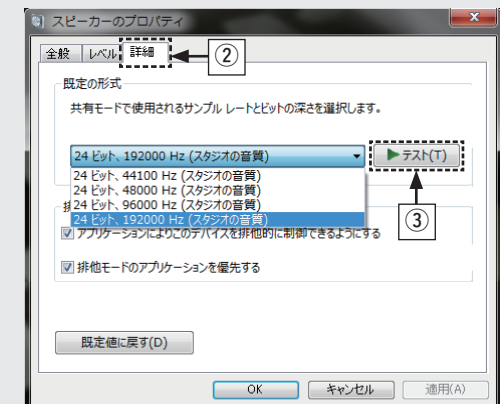
- ① パソコン画面の“スタート”をクリックして、“コントロールパネル”をクリックする。
- コントロールパネルの設定一覧を表示します。
- ② “サウンド”をクリックする。
- サウンドメニュー画面を表示します。
- ③ “再生”タブの“スピーカー、Marantz USB Audio”に“既定のデバイス”のチェックマークがあることを確認する。
- 他のデバイスにチェックマークがあるときは、“Marantz USB Audio”を選択してから“既定値に設定”をクリックしてください。

- 9 音声出力を確認する。
- パソコンからテスト信号を出力して USB-DAC 機能の音声出力を確認します。

- ① サウンドメニュー画面の“スピーカー”を選び、“プロパティ”をクリックする。
- スピーカーのプロパティ画面を表示します。



- ② “詳細”タブをクリックする。
- D/A 変換をおこなうサンプルレートとビット数を選び、“適用 (A)” をクリックする。
- ③ “テスト (T)” を押す。
- 本機からパソコンの音声出力されると設定は完了です。





**ご注意**

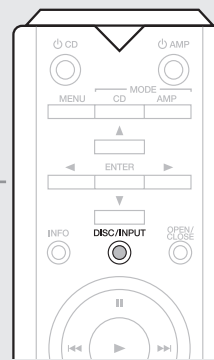
- 専用ドライバーはパソコンと本機を USB 接続する前にインストールしてください。ドライバーのインストール前に本機とパソコンを接続すると正しく動作しません。また、OS に Windows XP をご使用の場合、パソコンの動作が著しく遅くなり、パソコンの再起動が必要になる場合があります。
- パソコンのハードウェアおよびソフトウェアの構成によっては、動作しない場合があります。

**再生のしかた**

あらかじめご使用のパソコンにお好みのプレーヤーソフトをインストールしてください。本機のリアパネルの USB 端子にパソコンを接続してください。接続のしかたは「パソコンと接続する」(P14 ページ)をご覧ください。

**1 DISC/INPUT 押して、再生する入カソースを“USB-DAC”にする(P13 ページ)。**

パソコンのプレーヤーソフトで再生をはじめます。

**2 入力しているデジタル音声信号を次のように表示します。**  
“USB : \*\*\*\*k”または  
“USB : DSD \*\*\*\*M”  
(\*\*\*\* はサンプリング周波数を表示します。)

- サンプリング周波数を検出できない場合は、“Signal Unlock”を表示します。
- 本機のディスプレイに“USB : \*\*\*\*”が表示され、約 10 秒間経ってから、パソコンの音楽再生ソフトを起動し操作してください。本機が D/A コンバーターとして機能します。

**再生できるファイルについて**

「D/A コンバーター」(P34 ページ)をご覧ください。

**ご注意**

- 再生、停止などはパソコンで操作してください。本体のボタンおよびリモコンでは操作できません。
- パソコンでは、音量およびイコライザーの調整もできます。お好みの音量でお楽しみください。
- 本機が D/A コンバーターとして機能しているときは、パソコン本体のスピーカーから音声は出力されません。
- パソコンの再生ソフトを起動中に、本機とパソコンの接続をはずすと、再生ソフトがフリーズすることがあります。必ず再生ソフトを終了してから接続をはずしてください。
- パソコン側で異常が発生したときは、USB ケーブルを抜いてパソコンを再起動してください。
- 再生ソフトのサンプリング周波数と本機のサンプリング周波数表示が異なることがあります。
- パソコンとの接続には 3m 以下のケーブルをご使用ください。

## デジタル機器と接続して再生する (Coaxial/Optical)

**1** 本機にデジタル機器を接続する  
([12 ページ](#))。

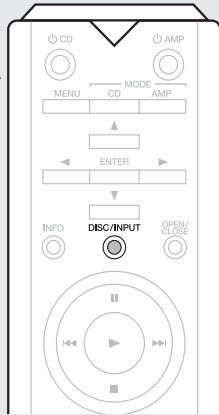
**2** DISC/INPUT 押して、再生する入力ソースを“Coaxial”または“Optical”にする([16 ページ](#))。

入力しているデジタル音声信号を次のように表示します。

“Coax : \*\*\*\*\*k”または  
“Opt : \*\*\*\*\*M”

(\*\*\*\*\* はサンプリング周波数を表示します。)

- サンプリング周波数を検出できない場合は、“Signal Unlock”を表示します。



### 再生できるファイルについて

「D/A コンバーター」([34 ページ](#))をご覧ください。

#### ご注意

- ドルビーデジタル、DTS、AAC などのリニア PCM 以外の信号は入力しないでください。雑音が発生し、スピーカーが破損する恐れがあります。
- CS 放送の A モードから B モードなど、サンプリング周波数が切り替わったときには、1～2 秒程度消音になり、音が途切れることがあります。

## 好みの音質に設定する

本機には好みの音質で再生をお楽しみいただけるように音質の調節機能を搭載しています。

- 設定は電源をオフにしても変わりません。

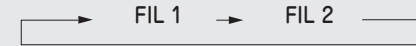
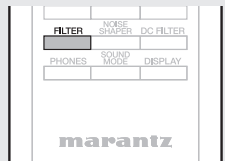
### フィルター特性を切り替える

スーパーオーディオ CD 再生用とオーディオ CD 再生用にそれぞれ 2 種類のフィルター特性を選ぶことができます。各フィルターの特性は次のとおりです。

フィルターの種類	オーディオ CD	スーパーオーディオ CD
FIL 1	インパルス応答は、プリエコー、ポストエコー共に短い特性です。音の情報量が多く、奥深い音像や音源の位置関係を明確に再現します。	解像度の高い音で、音の情報量を明確に再現します。
FIL 2	非対称インパルス応答と呼ばれる特性を持ったフィルターです。プリエコーに対してポストエコーが少し長めです。アナログ的な音質傾向です。	DSD データの 100kHz を超えた部分を減衰します。パランスの良い滑らかなサウンドが特長です。

#### FILTER を押す

- ボタンを押すたびに次のようにフィルター特性が切り替わります。



#### ご注意

フィルター特性は、ディスクの交換や電源をオフにしても変わりません。

## メニュー 一覧

本機はお買い上げ時の設定をおすすめの設定にしております。ご使用のシステムやお好みに合わせて本機をカスタマイズすることができます。

設定項目	内容	参照ページ	
Timer Play(タイマー再生)	別売りのオーディオタイマーと連動したタイマー再生をするかしないかを設定します。	27	
Play File (ファイル再生 方式の設定)	Disc	データ CD の再生中に、すべてのファイルを再生するか、選択したフォルダ内のファイルのみ再生するかを設定します。	28
	USB	USB メモリーの再生中に、すべてのファイルを再生するか、選択したフォルダ内のファイルのみ再生するかを設定します。	28
Disp Info (ディスプレイ表示)	iPod	iPod の再生中に表示する情報を設定します。	28
	USB	USB メモリーの再生中に表示する情報を設定します。	28
iPod Ctrl(iPod 操作の設定)	iPod の操作を本機でおこなうか iPod でおこなうかを設定します。	28	
USB Resume(レジューム設定)	再生を停止したときに、停止した位置を記録するかしないかを設定します。	28	
Digital Out(デジタル音声出力)	デジタル音声信号出力をするかしないかを設定します。	28	
Auto Stnby (オートスタンバイ)	本機が停止状態で何も操作しない状態が 30 分以上続いたとき、自動的にスタンバイ状態になるように設定します。	28	

## メニューの操作のしかた

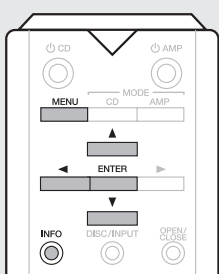
**1** 停止中に MENU を押す。  
ディスプレイにメニューを表示します。

**2** △▽ を押して設定または操作したいメニューを選び、ENTER を押す。

**3** △▽ を押して、お好みの設定に変更する。

**4** ENTER を押して、設定を確定する。

- 前の項目に戻るときは、◀ を押してください。
- メニューを終了するときには、メニュー表示中に MENU を押してください。メニュー表示が消灯します。



## Timer Play(タイマー再生)

別売りのオーディオタイマーと連動したタイマー再生をするかしないかを設定します(▶15 ページ「オーディオタイマーに接続する」)。

**On** : タイマー再生を設定します。

**Off**(お買い上げ時の設定) : タイマー再生を設定しません。

### □タイマー再生のしかた

1. 接続した機器の電源を入れる。
2. ディスクを入れる。または、iPod や USB メモリーを接続する。
3. アンプの入カソースを本機に切り替える。
4. オーディオタイマーをタイマー再生を開始する時間に設定する。
5. オーディオタイマーのタイマーモードをオンにする。  
オーディオタイマーに接続した機器の電源がオフになります。  
設定した時間になると接続した機器の電源がオンになり、再生をはじめます。

### ご注意

- オーディオタイマーの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- タイマー再生ではランダム再生やプログラム再生はできません。

## Play File(ファイル再生方式の設定)

データ CD や USB メモリーを再生するとき、すべてのファイルを再生するか、フォルダ内のファイルを再生するかを選択します。

### Disc

データ CD の再生中に、すべてのファイルを再生するか、選択したフォルダ内のファイルのみ再生するかを設定します。

**All**(お買い上げ時の設定)：データ CD 内のすべてのファイルを再生します。

**Folder**：選択したフォルダのファイルのみを再生します。

### USB

USB メモリーの再生中に、すべてのファイルを再生するか、選択したフォルダ内のファイルのみ再生するかを設定します。

**All**(お買い上げ時の設定)：USB メモリー内のすべてのファイルを再生します。

**Folder**：選択したフォルダのファイルのみを再生します。

## Disp Info(ディスプレイ表示)

iPod や USB メモリーを再生するときに表示する情報を設定します。

### iPod

iPod の再生中に表示する情報を設定します。

**Time**(お買い上げ時の設定)：時間情報を表示します。

**Title**：曲名を表示します。

**Artist**：アーティスト名を表示します。

**Album**：アルバム名を表示します。



再生中にリモコンの INFO を押しても、表示する情報を切り替えることができます。

### USB

USB メモリーの再生中に表示する情報を設定します。

**Time**(お買い上げ時の設定)：時間情報を表示します。

**Title**：曲名を表示します。

**Artist**：アーティスト名を表示します。

**Album**：アルバム名を表示します。



再生中にリモコンの INFO を押しても、表示する情報を切り替えることができます。

## iPod Ctrl(iPod 操作の設定)

iPod の操作を本機でおこなうか iPod でおこなうかを設定します。

**Direct**(お買い上げ時の設定)：iPod で操作します。

**Remote**：本機またはリモコンで操作します。

## USB Resume(レジューム設定)

再生を停止したときに、停止した位置を記録するかしないかを設定します。

**On**(お買い上げ時の設定)：レジューム再生を設定します。

**Off**：レジューム再生を設定しません。

### ご注意

- レジューム再生は、前回再生したときと同じ USB メモリーを再生したときのみ有効になります。異なる USB メモリーを再生する場合は、先頭にあるファイルから再生します。
- 前回再生したときと同じ USB メモリーで、ファイルを追加、または削除した場合は、希望する曲から再生できない場合があります。

## Digital Out(デジタル音声出力)

デジタル音声信号出力をするかしないかを設定します。

**On**(お買い上げ時の設定)：デジタル音声信号を出力します。

**Off**：デジタル音声信号を出力しません。

## Auto Stnby(オートスタンバイ)

本機が停止状態で何も操作しない状態が 30 分以上続いたとき、自動的にスタンバイ状態になるように設定します。

**On**(お買い上げ時の設定)：オートスタンバイモードを有効にします。

**Off**：オートスタンバイモードを無効にします。

# 困ったときは

## こんなときの解決方法

### □ お好みの音質に調節したい

- フィルター特性を切り替えてください(18 ページ)。

### □ アナログ出力の音声をより高音質で楽しみたい

- ディスプレイおよびディスプレイ回路からのアナログ音声出力信号への影響を抑えるため、ディスプレイをオフに設定してください(18 ページ)。
- デジタル音声出力回路からのアナログ音声信号への影響を抑えるため、デジタル音声出力をオフに設定してください(19 ページ)。

### □ スーパーオーディオ CD のテキストを表示したい

- 本機はスーパーオーディオ CD のテキストに対応しています。表示したい場合はリモコンの情報表示切り替えボタン(INFO)を押してください。

### □ イルミネーションランプを点灯しないようにしたい

- イルミネーションランプの設定をオフにしてください(18 ページ)。

### □ 指定したフォルダのみを再生したい

- メニューの“Play File”で再生範囲を“Folder”に設定してください(28 ページ)。

### □ USB メモリーの再生を自動的に開始しないようにしたい

- メニューの“USB Resume”を“Off”に設定してください(28 ページ)。

### □ iPod で再生中の曲のタイトルなどを本機のディスプレイに表示したい

- メニューの“iPod Ctrl”を“Remote”に設定してください(28 ページ)。

### □ WAV ファイルを再生したい

- 本機は USB メモリーに保存している WAV ファイルを再生できます(22、33 ページ)。

### □ 本機のリモコンでマランツ製アンプを操作したい

- リモコンモード切り替えボタン(AMP MODE)を押して、リモコンの操作モードをアンプに切り替えてください。
- アンプの取扱説明書もあわせてご覧ください。

## 故障かな?と思ったら

### □ 各接続は正しいですか

### □ 取扱説明書に従って正しく操作していますか

### □ 接続した機器は正しく動作していますか

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。  
なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。  
もし、お買い上げの販売店でお分かりにならない場合は、当社のお客様ご相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

### 目次

電源が入らない / 電源が切れる	(30)
リモコンで操作ができない	(30)
本機のディスプレイが表示されない	(30)
音がまったく出ない	(30)
音が途切れたり、ノイズが入ったりする	(31)
ディスクが再生できない	(31)
iPodが再生できない	(31)
USBメモリーが再生できない	(31)
iPodやUSBメモリー内のファイル名が正しく表示されない	(32)
パソコン内のファイルが再生できない	(32)

## □電源が入らない / 電源が切れる

症状	原因 / 対策	関連ページ
電源が入らない。	•コンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。	15
	•スタンバイモードになっています。リモコンのスーパーオーディオ CD 用電源ボタン(⏻ CD)を押してください。	16
電源が自動的に切れる。	•オートスタンバイモードが設定されています。操作がない状態で約30分間経過すると、オートスタンバイモードが動作します。オートスタンバイモードを無効にするには、メニューの“Auto Stnby”を“Off”に設定してください。	28

## □リモコンで操作ができない

症状	原因 / 対策	関連ページ
リモコンで操作ができない。	•乾電池が消耗しています。新しい乾電池と交換してください。	5
	•リモコンは、本機から約7m および 30° 以内の範囲で操作してください。	5
	•本機とリモコンの間の障害物を取り除いてください。	—
	•乾電池の ⊕ と ⊖ を正しくセットしてください。	5
	•本機のリモコン受光部に強い光(直射日光、インバーター式蛍光灯の光など)があたっています。受光部に強い光が当たらない場所に設置してください。	—
	•3D 映像機器をご使用の場合、各ユニット間(テレビや 3D 視聴用メガネなど)の無線通信の影響によって本機のリモコンが効かなくなることがあります。その場合は、3D 通信の各ユニットの向きと距離を調節して、本機のリモコンの動作に影響がないことを確認してください。	—
	•リモコンモード切り替えボタン(CD MODE)を押して、リモコンの操作モードを本機に切り替えてください。	9
•リアパネルの EXTERNAL/INTERNAL スイッチを“INTERNAL”に切り替えてください。	14	

## □本機のディスプレイが表示されない

症状	原因 / 対策	関連ページ
ディスプレイの表示が消える。	•リモコンのディスプレイボタン(DISPLAY)を押して、ディスプレイの表示をオンに設定してください。	18

## □音がまったく出ない

症状	原因 / 対策	関連ページ
音が出ない。または歪む。	•すべての機器の接続を確認してください。	11、12、 13、14
	•接続ケーブルを奥まで挿してください。	—
	•入力端子と出力端子を間違えて接続していないか確認してください。	—
	•ケーブルが破損していないか確認してください。	—
	•アンプの設定を確認し、適切に調節してください。	—

## □音が途切れたり、ノイズが入ったりする

症状	原因 / 対策	関連ページ
USB メモリーの再生中に音が途切れる。	•USB メモリーの転送速度が遅いとき、音が途切れることがあります。	—
パソコンの曲を再生中に音が途切れる。	•ご使用のパソコンのハードウェアおよびソフトウェアの構成によっては、音が途切れることがあります。	—

## □ディスクが再生できない

症状	原因 / 対策	関連ページ
再生ボタンを押しても再生しない、またはディスクの特定の場所が正しく再生できない。	•ディスクが汚れたり、傷が付いたりしています。ディスクの汚れを拭き取るか、他のディスクと入れ替えてください。	35
CD-R/CD-RW が再生できない。	•ファイナライズをしていないディスクは再生できません。ファイナライズしたディスクをご使用ください。 •記録状態が悪い、またはディスク自体の品質が悪いことが原因です。正しく記録したディスクをご使用ください。 •本機のデータ CD 再生機能は MP3 および WMA のファイルのみに対応しています。	36 — 33
ディスプレイに“0 0:00”と表示される。	•再生できないディスクを入れた場合には、“0 0:00”を表示します。	35
ディスプレイに“No Disc”と表示される。	•ディスクを裏返しに入れた場合やディスクが入っていない場合には、“No Disc”を表示します。	35

## □iPod が再生できない

症状	原因 / 対策	関連ページ
iPod が接続できない、または“Check iPod”が表示される。	•USB 端子に iPod を接続してご使用になる場合、対応していない iPod があります。 •iPod の接続に純正以外の USB ケーブルをご使用になると、iPod を認識できない場合があります。純正の USB ケーブルを使用してください。	13 —

## □USB メモリーが再生できない

症状	原因 / 対策	関連ページ
ディスプレイに“No Device”、“Check FS”または“Check Device”と表示される。	•接続不良などで、本機が USB メモリーを認識できない場合があります。USB メモリーを接続し直すなど、接続を確認してください。 •マストレージクラスの USB メモリーに対応しています。 •USB ハブを経由した接続はできません。USB メモリーは USB 端子に直接接続してください。 •USB メモリーのフォーマットを FAT16 または FAT32 に設定してください。 •すべての USB メモリーの動作は保証できません。一部の USB メモリーは、認識できない場合があります。また、AC アダプターから電源供給できるタイプの USB 接続対応ポータブルハードディスクをご使用になる場合は、ハードディスクに AC アダプターを接続して使用してください。	13 — — —
USB メモリー内のファイルを表示しない、または“Empty”と表示される。	•本機が対応していない形式のファイルは表示しません。 •本機が表示できるファイル構成は最大 8 階層、フォルダ数は最大 700 個、ファイル数は最大 65,535 個です。USB メモリーのフォルダ構成を変更してください。 •USB メモリーに複数のパーティションがある場合、先頭のパーティションのファイルのみを表示します。	33 — —
USB メモリー内のファイルを再生できない。	•本機が対応していないフォーマットで作成されています。本機が対応しているフォーマットを確認してください。 •本機では、著作権保護のかかったファイルを再生することはできません。 •“< Not Support”が表示された場合は、リモコンの ◀ を押して他のファイルを選んでください。	33 — —

## □iPod や USB メモリー内のファイル名が正しく表示されない

症状	原因 / 対策	関連ページ
ファイル名が“***”など、正しく表示されない。	•本機で表示できない文字は、“*”に置き換えて表示します。	—

## □パソコン内のファイルが再生できない

症状	原因 / 対策	関連ページ
パソコンで本機が認識されない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>•ご使用のパソコンの OS を確認してください。</li> <li>•ご使用のパソコンが Windows の場合は、専用ドライバーのインストールが必要です。</li> </ul>	23 23
“Unsupported”と表示される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>•本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“Unsupported”を表示します。パソコンまたはプレーヤーソフトの設定を確認してください。</li> <li>•ご使用のパソコンが“Mac OS”の場合は、“Audio MIDI 設定”で、“USB High Speed Audio”のフォーマットが“192000.0 Hz”以下に設定されているか、確認してください。</li> </ul>	— —

## 保証と修理について

### □保証書について

この製品には保証書が添付されており、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から1年間です。

### □保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

#### ご注意

保証書が添付されない場合は、有料修理になりますので、ご注意ください。

### □保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。有料修理の料金については「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」に記載の、お近くの修理相談窓口へお問い合わせください。

### □補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

### □修理を依頼される時

#### 修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな?と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただかずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

#### 修理を依頼される時

- 添付の「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」に記載の、お近くの修理相談窓口へご相談ください。
- 持ち込み修理対象製品の出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただきますこととなりますので、あらかじめご了承ください。
- 修理を依頼される時のために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

### □依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名……取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号…保証書または製品背面(または底面や側面)に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容





### □お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。



## 再生できるメディア

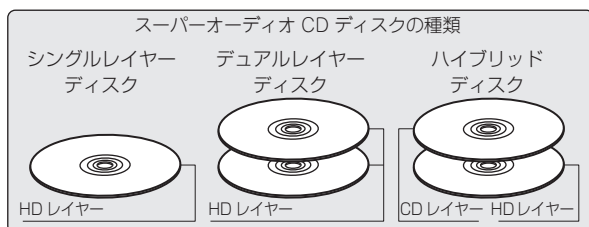
### ディスク

再生できるメディア	
スーパーオーディオ CD	
CD	
CD-R	
CD-RW	

### スーパーオーディオ CD(SACD)

スーパーオーディオ CD には次の 3 つの種類があります。

- ① シングルレイヤーディスク  
HD レイヤーのみで構成される一層のスーパーオーディオ CD です。
- ② デュアルレイヤーディスク  
HD レイヤーが二層構造のスーパーオーディオ CD です。高音質で長時間の再生ができます。
- ③ ハイブリッドディスク  
HD レイヤーと CD レイヤーの二層構造のスーパーオーディオ CD です。CD レイヤーの内容は通常の CD プレーヤーで再生することができます。



HD レイヤーとは、スーパーオーディオ CD 用の高密度信号層のことです。  
CD レイヤーとは、通常の CD プレーヤーで読み取り可能な層のことです。



SOUND MODE ボタンで“Multi-channel”を選択した場合は、L チャンネルと R チャンネルにダウンミックスした音声を出力します。

#### ご注意

- ご使用になるディスクや記録状態により、再生できない場合があります。
- ファイナライズされていないディスクは再生できません。

### データ CD

次のフォーマットで作成された CD-R または CD-RW を再生できます。

#### ライティングソフトのフォーマット

- ISO9660 レベル 1, 2  
拡張フォーマット(ジュリエット、ロメオ)
- 他のフォーマットで記録された場合は、正しく再生できないことがあります。

#### 再生できるファイルの仕様

再生できるファイル(拡張子)	ファイルの仕様
MP3 (.mp3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• サンプル周波数：32 / 44.1 / 48kHz</li> <li>• ビットレート：32kbps～320kbps</li> <li>• ファイルフォーマット：MPEG1 Audio Layer 3</li> </ul>
WMA (.wma)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• サンプル周波数：32 / 44.1 / 48kHz</li> <li>• ビットレート：64kbps～192kbps</li> <li>• ファイルフォーマット：Windows Media Audio</li> </ul>

#### 再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

最大ファイル数：1000 個  
最大フォルダ数：255 個

#### ご注意

- ファイルには必ず拡張子“.mp3” “.wma” を付けてください。これら以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかったファイルは再生できません。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむ以外では著作権上、権利者に無断で使用できません。

## USB メモリー

### USB 対応ファイルシステム

- FAT16 または FAT32
- USB メモリーが複数のパーティションに分かれている場合は、先頭ドライブのみ選択できます。

### タグ情報

- ID3 タグ(Ver.1.x と 2.x)  
WMA-TAG  
AAC-TAG  
(タイトル、アーティストおよびアルバムに対応)

### 再生できるファイルの仕様

再生できるファイル(拡張子)	ファイルの仕様
MP3 (.mp3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• サンプル周波数：32 / 44.1 / 48kHz</li> <li>• ビットレート：32kbps～320kbps</li> <li>• ファイルフォーマット：MPEG1 Audio Layer 3</li> </ul>
WMA (.wma)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• サンプル周波数：32 / 44.1 / 48kHz</li> <li>• ビットレート：48kbps～320kbps</li> <li>• ファイルフォーマット：Windows Media Audio</li> </ul>
AAC (.m4a)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• サンプル周波数：32 / 44.1 / 48kHz</li> <li>• ビットレート：64kbps～192kbps</li> <li>• ファイルフォーマット：Advanced Audio Codec</li> </ul>
リニア PCM (.wav)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• サンプル周波数：32 / 44.1 / 48kHz</li> <li>• ビット長：16 ビット</li> <li>• ファイルフォーマット：リニア PCM</li> </ul>

### 再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

最大ファイル数：65,535  
最大フォルダ数：700



- 本機は、著作権保護のかかっていない音楽ファイルのみを再生できます。
- インターネット上の有料音楽サイトからのダウンロードコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンでCD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。
- USB メモリーのファイルの音声をデジタル音声出力端子から出力する場合、サンプリング周波数を 44.1kHz に変換して出力します。

**ご注意**

- 本機は MP3 プレーヤー、デジタルカメラ、携帯電話などの USB 機器には対応していません。
- 本機は USB 機器の充電に対応していません。

**ファイルの再生順番について**

音楽ファイルを記録しているフォルダが複数ある場合、本機がメディアを読み取るときに自動的に各フォルダの再生順番を設定します。各フォルダの中のファイルを、ファイルがメディアに記録された日時が古いファイルから順に再生します。

**CD-R/CD-RW**

CD-R や CD-RW ディスクに記録しているファイルは、第一階層のすべてのフォルダにあるファイルを再生したあとに第二階層のすべてのフォルダ、第三階層のすべてのフォルダ・・・の順番に再生します。

**USB メモリー**

USB メモリーに記録しているファイルは、第一階層の最初のフォルダにあるファイルを再生したあとに、そのフォルダ内にある第二階層のフォルダ、第三階層のフォルダ・・・を再生し、次に別の第一階層のフォルダ・・・の順番に再生します。



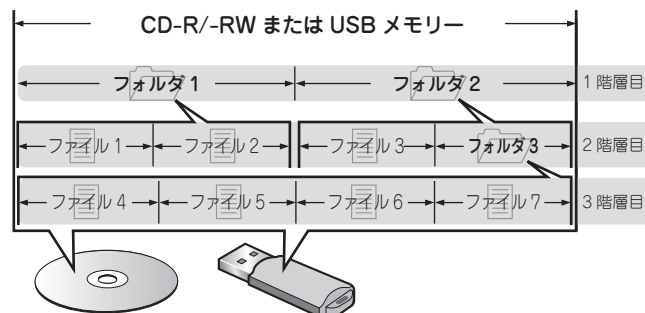
- パソコン上で表示される順番と実際に再生する順番が異なる場合があります。
- CD-R/CD-RW のライティングソフトによっては、再生する順番が変わる場合があります。

**ご注意**

USB メモリーのフォルダやファイルの削除や追加をおこなうと、記録順とは違う順に再生する場合があります。これはデータ記録上の仕様によるもので、故障ではありません。

**フォルダーとファイルについて**

CD-R/-RW や USB メモリーに記録された音楽ファイルは、いくつかの大きな区切り(フォルダ)と小さな区切り(ファイル)に分けられています。ファイルはフォルダに、フォルダはいくつかの階層に分けて記録させることができます。本機は 8 階層まで認識できます。



MP3/WMA ファイルを CD-R/-RW に書き込む場合、ライティングソフトのフォーマットは「IS09660」でおこなってください。他のフォーマットで記録された場合、正しく再生できないことがあります。詳しくは、ご使用のライティングソフトの説明書をご覧ください。

**D/A コンバーター****再生できるファイルの仕様****USB-DAC**

再生できるファイル (拡張子)	ファイルの仕様
DSD (2チャンネル)	<ul style="list-style-type: none"> <li>•サンプリング周波数：2.8224MHz</li> <li>•ビット長：1ビット</li> </ul>
リニア PCM (2チャンネル)	<ul style="list-style-type: none"> <li>•サンプリング周波数：32/44.1/48/88.2/96/176.4/192kHz</li> <li>•ビット長：16/24ビット</li> </ul>

**ご注意**

DSD 信号、またはサンプリング周波数が 32kHz のリニア PCM 信号の再生中は、デジタル音声出力は停止します。

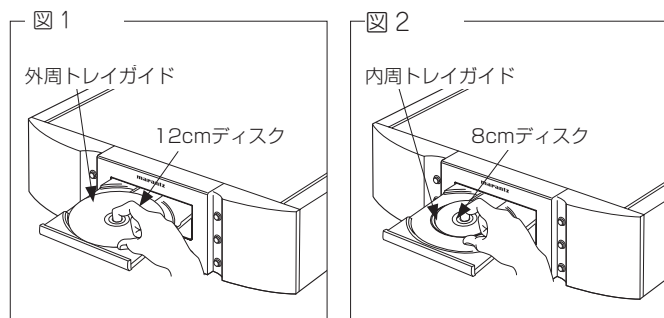
**Coaxial/Optical**

再生できるファイル (拡張子)	ファイルの仕様
リニア PCM (2チャンネル)	<ul style="list-style-type: none"> <li>•サンプリング周波数：32/44.1/48/64/88.2/96/176.4/192kHz</li> <li>•ビット長：16/24ビット</li> </ul>

## メディア使用時のご注意

### ディスクの入れかた

- 記録面を下にして入れてください。
- ディスクトレイが完全に開いた状態でディスクを入れてください。
- 12cm ディスクは外周トレイガイド(図1)に合わせ、8cm ディスクは内周トレイガイド(図2)に合わせて、水平に載せてください。



- 8cm ディスクは、アダプターを使用せずに内周トレイガイドに合わせて入れてください。



- ディスクトレイに DVD など本機が対応していないディスクを入れると、ディスクトレイの開閉が1分程度できなくなります。このような場合は、ディスプレイに“0 0:00”を表示します。そのあとに▲ボタンを押してください。
- また、MP3 や WMA 以外のファイルのみ入っているディスクをディスクトレイに入れると、“0 0:00”を表示します。

### ご注意

- ディスクは1枚だけ入れてください。2枚以上重ねて入れると故障の原因になり、ディスクを傷つけることにもなります。
- ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
- レンタルディスクのラベルやセロハンテープなどの糊がはみ出したものや、剥がした痕があるディスクは使用しないでください。そのまま使用すると、ディスクが取り出せなくなり、故障の原因になることがあります。
- 特殊形状のディスクの再生は、故障の原因になりますので使用しないでください。



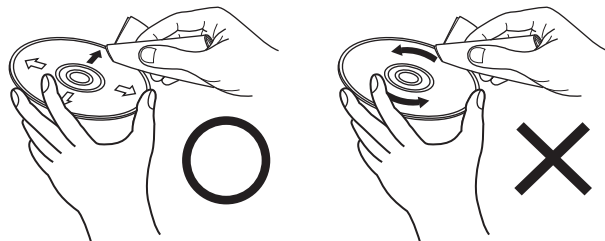
- 電源がスタンバイ状態で、ディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因となります。
- ディスクトレイに異物を入れないでください。故障の原因になります。
- 本機をたばこなどの煙が充満している場所に長時間置くと、光学式ピックアップの表面が汚れ、正しい信号の読み取りができなくなることがあります。

## メディアの取り扱いについて

- 指紋・油・ゴミなどを付けないでください。
- ディスクに傷をつけないよう、特にケースからの出し入れにはご注意ください。
- 曲げたり、熱を加えたりしないでください。
- ディスクの中心の穴を大きくしないでください。
- ディスクのレーベル面(印刷面)にボールペンや鉛筆などで文字を書いたり、ラベルなどを貼り付けたりしないでください。
- ディスクを屋外など寒いところから急に暖かいところへ移すと、ディスクの表面に水滴がつくことがあります。ヘアードライヤーなどで乾かさしないでください。
- USB メモリーの再生中に USB メモリーを抜いたり、本機の電源をスタンバイにしないでください。ファイルが壊れて、故障の原因になることがあります。
- USB メモリーは分解したり、修理したりしないでください。
- 静電気によって、USB メモリーやファイルが壊れることがあります。USB メモリーの金属端子部を指などで触らないでください。
- 変形した USB メモリーを使用しないでください。
- ご使用後は、必ずディスクや USB メモリーを取り出し、ほこりや傷、変形などを避けるため、必ず専用のケースに入れてください。
- 次のような場所に置かないでください。
  1. 直射日光が長時間当たるところ
  2. 湿気・ほこりなどが多いところ
  3. 暖房器具などの熱が当たるところ

## ディスクのお手入れのしかた

- ディスクに指紋や汚れが付いたときは、汚れをふき取ってからご使用ください。
- ふき取りには、市販のディスククリーニングセットまたは柔らかい布などをご使用ください。



内周から外周方向へ軽くふく。 円周に沿ってはふかない。

### ご注意

レコードスプレー・帯電防止剤や、ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品は、使用しないでください。

## 用語の解説

### M

#### MP3(MPEG Audio Layer 3)

音声データ圧縮方式の1つで、国際的な標準規格です。映像圧縮方式の「MPEG-1」に採用されています。音楽CD並の音質を保ったままデータ量を約1/11に圧縮できます。

### W

#### WMA(Windows Media Audio)

米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。

WMA データは、Windows Media® Player を使用してエンコード(符号化)することができます。

WMA ファイルは、米国 Microsoft Corporation より認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正しく動作しないことがあります。

### さ行

#### サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波(アナログ信号)を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化(デジタル信号化)することです。

1秒間に刻む回数をサンプリング周波数と呼び、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

### た行

#### ダイナミックレンジ

機器が出すノイズに埋もれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。

### は行

#### ビットレート(Bit rate)

ディスクに記録された映像/音声データを1秒あたりに何ビット処理したかを表わします。

#### ファイナライズ

CDレコーダーやCDドライブで録音されたCDを、再生対応機器で再生できるように処理することです。

### ら行

#### リニアPCM

圧縮していないPCM(Pulse Code Modulation)信号です。CDの音声と同じ方式ですが、BDやDVDでは192kHz、96kHz、48kHzなどのサンプリング周波数を用いており、CDよりも高音質の音声が楽しめます。

# 主な仕様

オーディオ特性	【スーパーオーディオ CD】	【CD】
<b>アナログ出力</b> チャンネル：2チャンネル 再生周波数範囲：2Hz～100kHz 再生周波数特性：2Hz～50kHz(－3dB) SN比：109dB(可聴帯域) ダイナミックレンジ：109dB(可聴帯域) 高調波歪率：0.0009%(1kHz、可聴帯域) ワウ・フラッター：水晶精度	2チャンネル 2Hz～20kHz 2Hz～20kHz 110dB 100dB 0.0015%(1kHz) 水晶精度	2チャンネル 2Hz～20kHz 2Hz～20kHz 110dB 100dB 0.0015%(1kHz) 水晶精度
<b>出力レベル(FIL 2)：</b> 信号方式：2.0V(10k Ω) ヘッドホン出力：32mW/32 Ω(可変最大)	2.3V(10k Ω) 52mW/32 Ω(可変最大)	2.3V(10k Ω) 52mW/32 Ω(可変最大)
<b>デジタル出力</b> 同軸出力(ピンジャック)：— 光出力(角型光コネクタ)：—	0.5Vp-p(75 Ω) -19 dBm	0.5Vp-p(75 Ω) -19 dBm
<b>光学読み取り方式</b> レーザー：AlGaAs 波長：650nm 信号方式：1bit DSD サンプル周波数：2.8224MHz	AlGaAs 780nm 16bit Linear PCM 44.1kHz	AlGaAs 780nm 16bit Linear PCM 44.1kHz
<b>総合</b> 電源：AC100V 50/60Hz 消費電力：37W(電気用品安全法による) スタンバイ時：0.3W 以下 許容動作温度：+5℃～+35℃ 許容動作湿度：5～90%(結露のないこと)		

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。 ※本機は国内仕様です。必ず AC100V のコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC100V 以外の電源には絶対に接続しないでください。



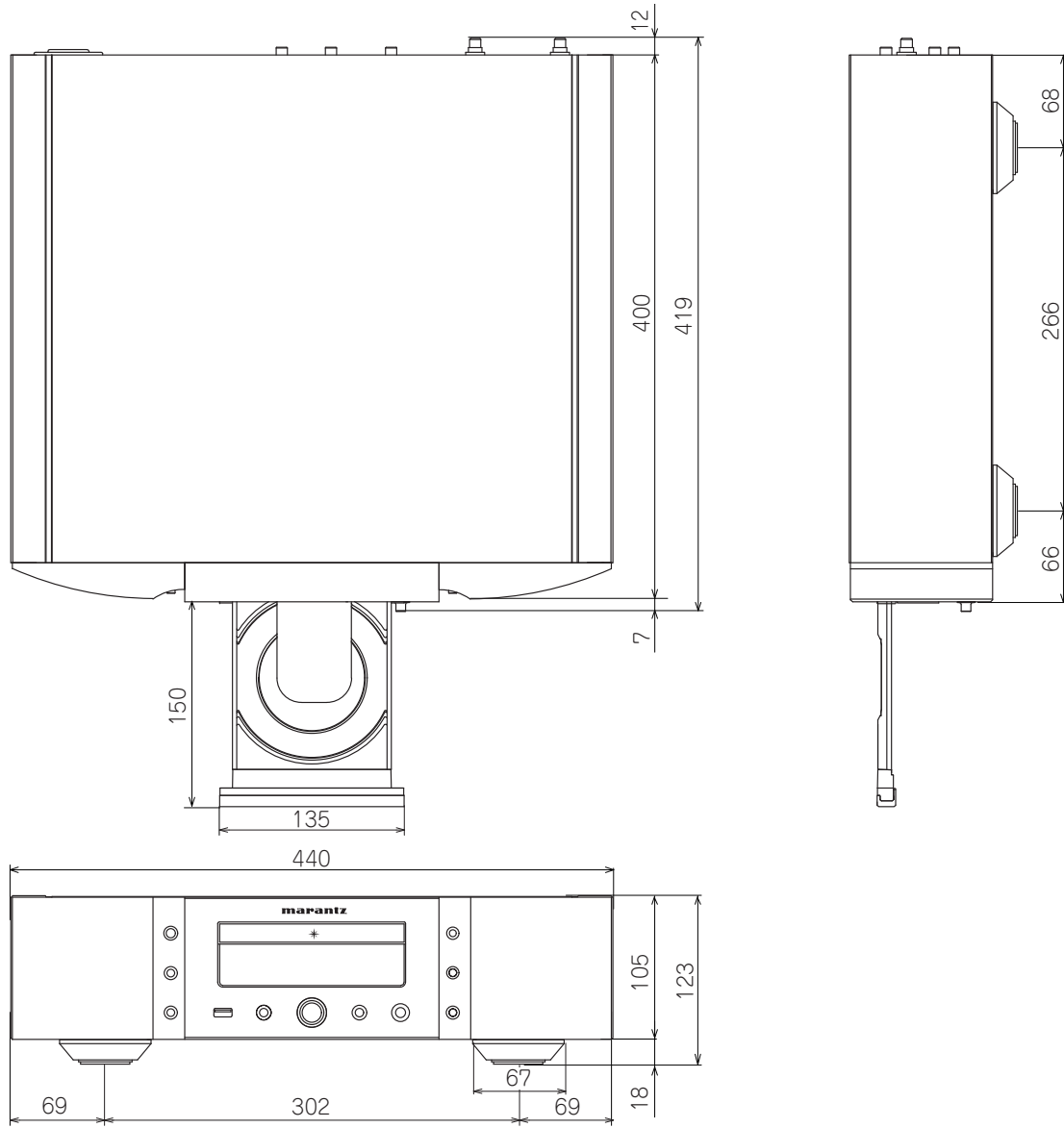
# 索引

<b>M</b>	MP3 ..... 36
<b>お</b>	オートスタンバイ ..... 28
<b>こ</b>	故障かな?と思ったら ..... 29 こんなときの解決方法 ..... 29
<b>さ</b>	サーチ ..... 17, 22 再生 CD ..... 17 iPod ..... 21 MP3 ..... 20 USB メモリ ..... 22 WMA ..... 20 スーパーオーディオ CD ..... 17 再生モード プログラム再生 ..... 19 ランダム再生 ..... 19, 20, 22 リピート再生 ..... 18, 20, 22 サンプル周波数 ..... 33, 36
<b>せ</b>	接続 AV レシーバー ..... 12 D/A コンバーター ..... 12 iPod ..... 13 USB メモリ ..... 13 アンプ ..... 11 オーディオタイマー ..... 15 電源コード ..... 15 パソコン ..... 14 専用ドライバーソフトのインストール ..... 23
<b>た</b>	ダイナミックレンジ ..... 36 ダイレクト選曲 ..... 17
<b>て</b>	ディスプレイ ..... 18 データ CD ..... 20 デジタル出力を停止する ..... 19 電源を入れる ..... 16
<b>に</b>	入力ソースの切り替え ..... 16
<b>ひ</b>	ビットレート ..... 33, 36
<b>ふ</b>	ファイナライズ ..... 36 フィルター特性 ..... 26 付属品 ..... 5 フロントパネル ..... 7
<b>め</b>	メニュー 一覧 ..... 27
<b>り</b>	リアパネル ..... 8 リニア PCM ..... 33, 34, 36 リモコン ..... 9 乾電池の入れかた ..... 5



# 寸法図

単位：mm



質量：14.5kg

# marantz®

お客様ご相談センター

☎ 0570 (666) 112

【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】

IP 電話をご利用の場合など、プロバイダーのサービスによってはつながらない場合があります。その場合は 03 (3570) 5138 におかけください。

受付時間 9:30 ~ 17:30

(当社休日および祝日を除く、月~金曜日)

〒210-8569 神奈川県川崎市川崎区日進町2番地1 D&Mビル

修理に関するお問い合わせは、  
添付の「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」をご覧ください。

後日のために記入しておいてください。

購入店名:	電話 (    -    -    )
ご購入年月日:	年    月    日

株式会社 デイアンドエムホールディングス

当社の最新情報をインターネット上でご覧ください。

<http://www.marantz.jp>